International Auto Aftermarket EXPO

2021 ONLINE

Vol.1

第18回 国際オートアフターマーケット EXPO 2021 ONLINE Vol.1

自動車アフターマーケット関連事業者必携のガイドブック!!

GUIDEBOOK

［ 特別寄稿 ］

「自動車検査の現状とOBD検査導入に向けて」掲載！

会　期 2021年3月17日(水)～19日(金)

［アーカイブ：3月20日(土)～23日(火)］

会　場 オンライン(特設WEBサイト)

東京ビッグサイトよりセミナーライブ配信

ご注意	来場事前登録の上、特設WEBサイト内にてご覧ください。 ●東京ビッグサイトでの各企業のブース展示は一切ございません。 ●東京ビッグサイト内に設置するのはセミナー配信用スペースのみです。 お越し頂いても現地で聴講いただくことはできません。

事前登録受付中！

http://www.luccini-japan.com

スポーツパフォーマンスと快適性の融合

Buono Sport

Buono Sport For Passenger Car

ビジネスシーンをよりファッショナブルに!

JOB PRO JP100

For Light Truck

四季を通じて安定した走行性能を発揮

Buono Neve

All season For JPN Taxi

LUCCINI

make a wise move

ルッチーニタイヤ販売総代理店 **中村オートパーツ株式会社 タイヤ事業部**
〒177-0032 東京都練馬区谷原 1-22-2　TEL：03-3904-8141 FAX：03-3904-8143

AUTEL®

次世代整備に対し今も未来もAUTELがサポートします

- **エイミング**　フロント、リア、ブラインド・スポットまでソフトで具体的指導、アライメントプレチェックまで可能
- **故障診断機**　診断だけでなく、修理指南まで
- **バッテリー**　機種登録もできるバッテリーテスターの投入

オーテル・インテリジェント・テクノロジー株式会社
Autel Intelligent Technology (Asia Pacific)Company Limited.
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目7番18号 719室
TEL：045-594-8465 / FAX：045-345-8589
Web ：https://www.autel.com/jp/
Email:sales.jp@autel.com(ビジネス)
support.jp@autel.com（技術サポート）

International Auto Aftermarket EXPO 2021 ONLINE Vol.1

IAAE2021は、オンライン開催！

以下のコンテンツをご利用いただけます ！

事前商談予約システム

会期前日の3/16(火)までの間、公式HPの出展者リストより、希望する出展企業と商談予約をすることができます。

出展企業の閲覧

各出展企業の基本情報やPR動画をご覧いただけます。

出展企業への問い合わせ

興味のある企業へお問い合わせが可能です。

セミナー・出展者プレゼンテーションの聴講

特設サイト内のセミナーメニューから聴講希望のプログラムをクリックすることで、全て無料で聴講いただけます。

アクセス方法

特設WEBサイトへのアクセスは、来場事前登録(WEB)が必要です。
登録いただいた方に、ログインに必要なID/PWをお送りいたします。

事前登録受付中！

GUIDEBOOK

CONTENTS

目　次 …… 05

実行委員長挨拶 …… 06

運営事務局長挨拶 …… 07

［特別寄稿］
自動車検査の現状とOBD検査導入に向けて …… 08

指定自動車整備工場の猶予期間／
業種別特定整備対応マニュアル …… 20

開催概要 …… 22

セミナースケジュール …… 24

バーチャルフロアMAP …… 30

出展者一覧 …… 31

実行委員長挨拶

「第18回国際オートアフターマーケットEXPO2021 ONLINE」の開催にあたり、主催者を代表してご挨拶申し上げます。

昨年、IAAEは新型コロナウイルスの感染拡大に伴う政府のイベント自粛要請を受け、開催を1年延期させていただきました。その後2021年の開催にむけて粛々と準備を進めて参りましたが、再度の緊急事態宣言の発令を受けて新型コロナウイルスの感染リスク等を考慮し、2021年はWEBサイト上でのオンライン展示会及び東京ビッグサイトからのセミナー・実演のライブ配信という形で開催する運びとなりました。

リアル展示会開催に向けご協力頂いた皆様、また今回のオンライン展示会にご出展頂く企業・団体の皆様のほか関係各位のご支援、ご尽力に改めて御礼申し上げます。

オートアフターマーケット業界の活性化に貢献することを目的とする本展示会は、おかげをもちまして今回で18回目を迎えることができました。セミナーや実演をライブ動画で配信するほか、展示情報は特設ウェブサイトなどで情報発信していきます。特設ウェブサイトでは出展概要だけでなくPR動画の閲覧や問い合わせなども行うことができ、出展者様と来場者様のビジネスに役立つ機会を提供して参ります。

また、展示会終了後の20日～23日の4日間はセミナーのアーカイブ配信を行い、オートアフターマーケットに関心のある方々のビジネスに役立つ情報を提供して参る所存です。このほか、本オンライン展示会を第1弾とし3月24日から4月30日まで「IAAE2021 ONLINE vol.2」も開催いたします。オンライン展示会の第２弾と位置づけ、オートアフターマーケット業界の活性化に向け情報発信を積極的に進めて参ります。

自動車産業は100年に一度の変革期を迎えています。脱炭素社会の実現に向けてグローバル規模で取り組みが加速しております。自動車でその中心となるのが電動化です。「CASE」「MaaS」はもちろん自動車産業の構造が大きく変わる可能性が高まる中で、オートアフターマーケット業界も変革への対応が求められます。自動車整備では自動運転の進展や電動化に対応するため2020年4月から「特定整備」制度がスタートしました。エーミングへの対応はもちろんOBD車検診断も不可欠となっており、整備関連事業者は大きな節目を迎えようとしています。

こうした中で本展示会は、より安全でより快適なカーライフを提供するためにオートアフターマーケット業界が取り組んでいること、今後、目指すべき方向性などについてセミナーや展示を通じて広く情報発信を行って参ります。それが皆様のビジネスに役立ち、業界発展の一助になれば幸いです。開催に当たり皆様のご支援、ご協力に改めて御礼申し上げます。

国際オートアフターマーケットEXPO
実行委員長
髙橋　賢治
日刊自動車新聞社　代表取締役社長

運営事務局長挨拶

自動車整備の再定義とともにアフターマーケットで進むDX

リアルでの開催効果が見込みにくい状況の中で、ひとりでも多くの自動車アフターマーケット事業者の方々に最新のビジネス情報や事業の活性化につながるきっかけを提供するために、今回はオンラインでの開催を企画致しました。

初めての取り組みに対して、ご賛同頂いた方々にこの場をお借りして感謝申し上げるとともに、ぜひ多くの方々に「第18回国際オートアフターマーケットEXPO2021 ONLINE」に参加して頂きたいと考えております。

自動車アフターマーケットを取り巻く環境は、自動運転車両に対応していくために「電子制御装置整備」が世界に先駆けて規定されるなど自動車の進化に対応していく必要に迫られています。また、少子高齢化などの社会環境の変化にも直面しており、保有台数の拡大と法定需要によって支えられた業界構造が大きく変化していく過渡期にあります。

特に本年は自動車の点検基準が変更されることになり、自動車整備を主業としている事業者にとっては、特定整備認証の取得を真剣に検討しなくてはならないタイミングだと思います。

また「電子制御装置整備」は分解整備のみならず、車体整備や自動車ガラス、電装整備を始め、バンパやグリルなどの脱着に係わる用品販売・カスタマイズなど、多岐にわたる自動車アフターマーケットの多くの事業者に影響を及ぼしていくことになるのではないでしょうか。

さらにその先には車検証の電子化が予定され、免許証がデジタル化していくこととあわせて、好む・好まざるに関わらずDX（デジタルトランスフォーメーション）が進むのは自明の理です。

一方で世界的に進むカーボンニュートラルにあわせて、主要マーケットにおけるパワートレインの電動化にも拍車がかかることで、結果として国内市場における給油事業や補修部品販売事業なども影響を受けることになります。

拡大が難しい国内市場の自動車流通においても、近年注目が集まるサブスクリプションなど様々な変化が顕在化していく中で、20兆円市場ともいわれる自動車アフターマーケットに携わる多くの事業者の方々に役立つ情報をお届けし、ビジネス交流を実現するためにも「第18回国際オートアフターマーケットEXPO2021 ONLINE」を開催させて頂くことに致しました。

様々な実演で得られる手触りや、ニュアンスが重要な商談などリアルでの開催効果には劣る部分もある一方で、従来の開催形態では東京ビッグサイトまでお越し頂けなかった方々には、手軽にアクセスして頂けるなどオンラインの強みもあると考えています。

さらに東北エリアや京都・福岡などでは感染対策を行った上で、オンライン配信されるセミナープログラムを上映し、実演も行うサテライト会場を開設して頂く協力企業もございます。

東京ビッグサイトから無観客での配信に加え、サテライト会場を設けるという全く新しい試みですので、改善点も多く出てくることと思いますが、ますます変化していく自動車アフターマーケットのビジネス環境と、社会全体で進むDX（デジタルトランスフォーメーション）に対応していくために、一歩踏み出していきたいと思います。

これからも自動車アフターマーケットの健全な発展に寄与するために、進化し続ける国際オートアフターマーケットEXPOをご活用頂くことを切に申し上げ、開催の挨拶に代えさせて頂きます。

国際オートアフターマーケットEXPO
運営事務局長
松永　博司
株式会社ジェイシーレゾナンス 代表取締役社長

特別寄稿

自動車検査の現状とOBD検査導入に向けて

～独立行政法人自動車技術総合機構の役割と今後の取り組み～

〈取材協力／監修〉独立行政法人自動車技術総合機構

現在、世界的なコロナ禍という厳しい状況の真っ只中において、多くの経済活動、社会活動に制約が生じている。そのような状況下でも、特に自動車という製品に着目すると、コロナ禍にあっても安心して移動できるパーソナルモビリティという点で、改めてその価値が見直されつつある。また、自動車の使用頻度や工業生産、販売などの点においては、他に先駆けて、回復が進んでおり、これまで以上に日本経済全体の牽引役として重要度がさらに増しているとも言えるのではないだろうか。

そんな社会、経済の両面で日本を支えている自動車社会の重要な役割を担う、アフターマーケット業界も2020年4月の「特定整備制度」施行を皮切りに、2024年までに大きなルール改正を控え、大激変の時を迎えている。その中で大きなポイントの1つとなるのが、2024年10月から本格運用が開始される予定の「OBD検査」である。

そしてこの「OBD検査」の運用に重要な役割を果たすのが、**独立行政法人自動車技術総合機構**である。本稿では、独立行政法人としての同機構がどのような組織であるかを紹介した上で、現状の検査の状況を解説。機構が果たす役割の重要性と「OBD検査」の導入に向けた現時点での取り組みについてお伝えする。

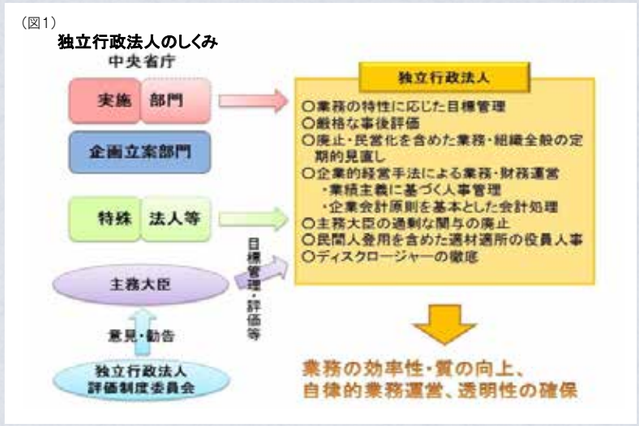
1. 自動車技術総合機構とは？

まずは自動車技術総合機構についての概要から紹介したい。以下　(1) 独立行政法人について　(2) 自動車技術総合機構の設立について　(3) 主な業務目的と範囲についてをそれぞれ解説する。

(1) 独立行政法人について

国の組織そのものをスリム化するとともに、様々な実施部隊を独立させて、自由度を高めつつ、一定のコントロールをするという目的があり、欧州、英国における行政改革手法を参考にしたものと言われている。政策や実施方法の企画立案を行う国（中央省庁）と独立行政法人の関係性を表したのが、以下の（図1）となる。

（図1）



（図1）にあるように、中央省庁（※自動車技術総合機構の場合は国土交通省）が、様々な企画立案を行うが、実施部門に一部、切り出し先があり、この内容が独立行政法人の性質や特徴となる。

業務の特性に応じた目標管理を自ら行うと共に、主務大臣、独立行政法人の委員会からの意見勧告や評価が行われるシステムが作られている。狙いとしては、業務の効率化と質の向上を機動的に行いやすくすることで、法人の自律的業務運営の確保と業務の透明性を高めるということが挙げられる。

では、独立行政法人の実際の業務運営の流れはいかなるものなのだろうか。主務大臣は、達成すべき業務運営の目標として、中期目標管理型の法人ごとに3～5年の中期目標を定め、各法人はこの中期目標に基づいて中期計画及び年度計画を策定し、計画的に業務を遂行することとなっている。法人の業務実績は、毎年度、中期目標期間の最後の年度の直前の年度および中期目標期間それぞれの終了時に主務大臣により評価が行われ、中期目標期間の最終年度にはさらに、法人の存廃を含めた組織・業務全般に渡る見直しが行われる。

最大のポイントは、数年ごとに中期の目標と計画を立てて、その計画の実施状況を評価していくことで、一定期間ごとに組織や業務全般にわたる見直しがされることにある。自動車技術総合機構においては、5カ年ごとに計画を立てており、大きな方向性はこの中期の計画に示されることとなる。後述する「OBD検査」の実施という大きな方向性もこの計画によって方向付けされている。

次に自動車技術総合機構の位置付けについて述べたい。独立行政法人自動車技術総合機構は、自動車が保安基準に適合するかどうかの審査、自動車技術等に関する試験、調査、研究及び開発等を総合的に行うために設立された中期目標管理法人である。中期目標管理法人とは、国民の需要に的確に対応した多様で良質なサービスの提供を通じた公共の利益の増進を推進することを目的とし、中期目標管理により高い自主性・自律性を発揮しつつ事務・事業を行う法人のことで、主な特徴としては、3～5年の中期の目標管理や非公務員型の人事管理、主務大臣の関与が相対的に小さいことなどが挙げられる。

(2) 自動車技術総合機構の設立について

自動車にかかる法律は戦後しばらくして経済復興、モータリゼーションの始まりと共に立ち上がる。都道府県単位でバラバラだったものをまとめ上げ、当時の運輸省の元で全国規模でのルールの下、検査登録から始まり、やがてニューモデルの型式認証審査やリコールの技術検証など社会の要請に応じて展開していくことになる。

平成11年に中央省庁等改革法案があり、運輸省は建設省と一緒になり国土交通省となるが、そのタイミングで多くの実行部門が独立行政法人化されている。検査関係は「自動車検査独立行政法人」に、認証審査、リコールさらに研究部門は「交通安全環境研究所」となっている。

さらに業務の親和性や発展を考えて、この2つの法人が統合されて、平成28年4月に設立されたのが今の自動車技術総合機構である。

(3) 主な業務目的と範囲について

そのような設立背景を持つ自動車技術総合機構の業務目的と範囲について、詳しく見ていきたい。

まず業務の目的は「自動車の検査に関する事務のうち、自動車が保安基準に適合するかどうかの審査、自動車技術等に関する試験、調査、研究および開発等を総合的に行うことにより、自動車運送等に関する安全性の確保、公害の防止その他の環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保を図ること」とされている。具体的な内容は業務の範囲を見ると分かる。

1点目に「自動車および自動車の装置が保安基準に適合するかどうかの審査を行うこと」とある。これは自動車メーカーが新たに開発して販売する際の型式認証にかかる基準適合性審査から、自動車ユーザーが使用過程において受ける検査、いわゆる車検における基準適合性審査も含まれる。

2点目には「自動車および自動車の装置が保安基準に適合していないおそれの原因が設計または製作の過程にあるかどうか並びに規定による届出に係る改善措置の内容が適切であるかどうかの技術的な検証を行うこと」とある。これはいわゆるリコールに関する技術的な検証となる。リコールとは、自動車メーカーが自主的に回収して、不具合などを直す仕組みだが、そのリコー

ル対象の車両の範囲や、改善措置などが問題のないものか、技術的に検証して確認するものである。以前、リコール隠しなどの事件があったことは記憶に新しい。重大な事故が発生する前に、リコールをさせるかどうかの判断は、リコール勧告や指示の権限を持つ国が行うこととなるが、万が一、情報等が隠蔽された場合に、技術的に発見することは大変難しいこともあり、国だけでは効果的に事件防止ができない状況であったことから、技術的な検証を行う専門部署が機構の研究所内に構築され、技術の進展とともに強化されてきた。

また、もう1つの重要な業務として「陸上運送及び航空運送に関する安全の確保、環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保に係るものに関する試験、調査、研究及び開発を行うこと」がある。これは機構が自動車メーカーや部品メーカーのように、製品開発や、そのための試験や調査を行うというものではない。行っているのは基準や標準作りのための試験、研究である。

自動車の大きな特徴は、通常の家電製品とは異なり、個人個人が所有、管理できるが、その安全性と環境性能については、厳しいルールが求められるということである。製造時はもちろん、使用過程時においても同様で、定期的な検査のほか、その間の点検整備義務までユーザーには求められている。定期的な法定点検まできちんと法制度化されている国は、国際的にも珍しく、製品の信頼性の高さと相まって、日本が自動車先進国の中でも、車両故障などによる事故や経済損失が極めて少ないのにはしっかりとした理由がある。

一方、自動車という製品が極めて国際化された商品であることから、製造時などにかかるルール、いわゆる安全環境基準については、国際的な調和も考慮して考える必要がある。事実上、国内の経済を支える自動車関連産業だが、自動車単体で見ると、全世界の生産台数の約3割の2,700万台が日本メーカー製造となり、そのうち日本国内については、1,000万台弱、さらにそこから海外への輸出が約半分となっている。日本経済に与えるインパクトという点では、関連の部品なども含めると日本全体の輸出額の3割を占めるとも言われ極めて大きい。このように世界を視野に入れて動くことの重要性から、ルール、つまり自動車の安全・環境基準などは、国内のみならず国際的な動向なども踏まえて、機構で技術的な検討を行っている。

これまで述べた通り、自動車に関する機構の業務は多岐に渡り、設計から使用過程まで全過程で機構の業務が関わる。分かりやすいイメージとして、以下の（図2）を参照頂きたい。

（図2）機構の業務イメージ

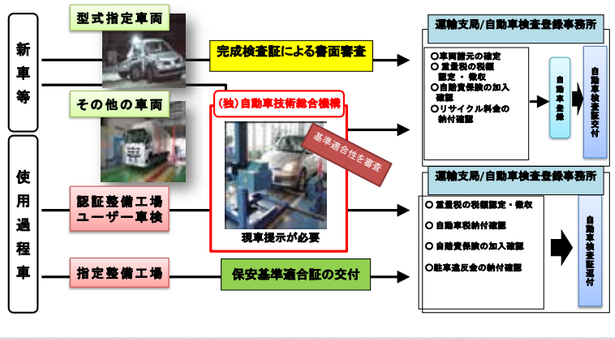
設計段階では、安全や環境の基準策定の支援や研究として、新車の段階では型式指定の審査として、そして使用過程においては、自動車検査、そしてリコールの技術的な検証で関わることとなる。

2. 自動車技術総合機構の現状の検査

自動車技術総合機構の現状の検査についても述べていきたい。まずは具体的な検査の内容について、以下で触れた上で、検査の高度化という観点で取り入れた高度化施設などについて説明する。

下記（図3）が、自動車の検査の流れを示したフローチャートである。上が新車の流れ、下が使用過程車となる。

（図3）自動車の検査内容



新車については、型式指定という大量生産と販売をイメージしたものと、そのような型式指定車両をベースとした改造や変更を行った車両がある。機構では後者を対象として検査を行う。なお型式指定車両については、自動車メーカーが製造する前に認証の審査を受けることとなる。その時は、代表車両を使って、機構の研究所で審査を行う。そこでは破壊試験や排ガスモード試験などの厳しい審査を実施し、そこで問題が無ければ、一定の管理のもとで、自動車メーカーは大量に製造することが可能となる。その際に、最終的なチェックとして、完成検査を行うこととなっており、無事終わった証拠として一台ごとに完成検査終了証が出る。これによって、実際の登録時には書面確認だけで現車の検査が省略される。一方、それ以外の車両、例えば架装を行う大型のトラックなどを中心に、一品物となるような車両については、機構の全国の検査場において一台一台現車による検査を行い、保安基準への適合性を審査する。

また使用過程車についても、同じような仕組みがある。認証を受けた整備事業者が持ち込む際の検査、あるいはユーザーが自ら受検するいわゆるユーザー車検については、先ほど説明した内容と同様に、機構において現車の基準適合性の審査を行う。そして使用過程車においても、新車と同様に、民間の整備事業者を活用した制度があり、それが指定整備工場において、点検整備を行った上で、検査を受ける仕組みとなる。乗用車については、24ヶ月点検といわれる法定点検と整備が行われた上で、検査を受けるということで、国としてもこのような指定整備工場の活用が重要と考えている。ちなみに全国で認証工場が約9万事業場、民間車検場といわれる指定整備工場が約3万事業所ある。全整備要員数で約40万人、総整備売上高が約5兆6,000億円ということで、とても大きな産業分野といえる。

（図4）検査の種別

新規検査	【概要】 自動車が新たに運行の用に供する際に使用者が受ける必要のある検査であり、有効な車検証の交付をうけていない車両が有効な車検証を受け取るために行う検査。通常の保安検査とあわせて寸法・重量等の測定を行う。
予備検査	【概要】 自動車の所有者が受けることができる検査。新規検査と同様に通常の保安検査と寸法・重量等の測定を行うが、運行に必要な有効な車検証の交付は無く、他の都道府県の運輸支局に車両の提示がなくても登録できる予備検査証の交付を受けることができる。有効期間は3ヶ月。
構造等変更検査	【概要】 自動車の使用者は、車検証の記載事項に変更があった場合は、その事由があった日から15日以内に自動車検査証の記入を受けなければならない。その際に国土交通大臣は保安基準に適合しなくなるおそれがあると認めるときは、車両を提示して構造等変更検査を受けるべきことを命じなければならない。
継続検査	【概要】 有効な車検証の交付を受けた自動車が、有効期間を更新するために行う検査。
街頭検査	【概要】 整備不良車や不正改造車等の排除のための路上等において行われる検査。

使用過程車の検査、いわゆる車検という点では、機構は指定整備工場と連携しており、ユーザーに点検整備を促し、適切に実施してもらうという点では、機構は認証工場と連携しているということとなる。

検査の種別について、整理したものが（図4）である。新規検査は、自動車が新たに運行の用に供する際に使用者が受ける必要のある検査であり、有効な車検証の交付を受けていない車両が有効な車検証を受け取るために行う検査。通常の保安

検査と合わせて、寸法・重量等の測定を行うものである。いわゆる車両の諸元の確定を行うものだ。この諸元の確定は、後述するが、様々な自動車関連制度の土台となるもので、とても重要となる。そのため、諸元の変更のない型式指定車を除いて、機構が現車の審査を行うこととなる。

次に予備検査だが、自動車の所有者が受けることができる検査であって、新規検査と同様に通常の保安検査と寸法・重量等の測定を行うが、運行に必要な車検証の交付は無く、他の都道府県の運輸支局で車両の提示がなくても登録できる予備検査証の交付を受けることができるものとなる。検査は通常、自動車の使用者が行うが、この場合、使用者がまだ特定されてない段階で検査を受けることが可能だ。中古車販売などでは、検査を受けておき、売買先が見つかった際に、登録の手続きを行うという活用の仕方がある。ただし、予備検査で合格した際に交付される予備検査証の有効期間は、3ヶ月なので注意が必要となる。

3つ目が、構造等変更検査である。自動車の使用者が、車検証の記載事項に変更があった場合に、その事由があった日から15日以内に自動車検査証の記入を受けなければならないとされており、その際に国土交通大臣は保安基準に適合しなくなるおそれがあると認めるときは、車両を提示して構造等変更検査を受けるべきことを命じなければならない。いわゆる改造の内容に応じて、必要となる検査であり、これによっても車の諸元が変わることがある。構造等変更検査は様々なパターンがあるので、自動車の使用者は国の支局事務所あるいは機構の事務所に相談してから行うケースも多い。

この新規検査、予備検査、構造等変更検査では、自動車の諸元となる様々な情報が確定される。そのため機構が現車の審査を直接行うこととなる。

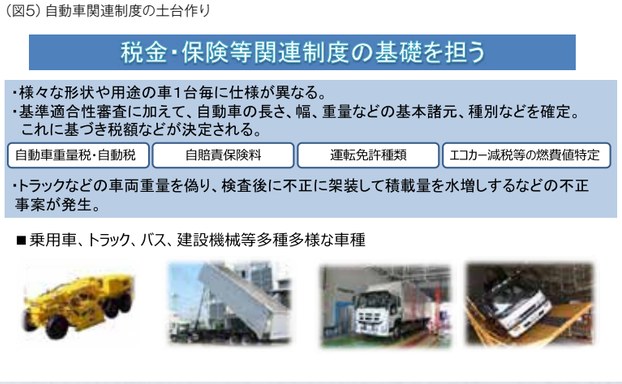
一方の継続検査だが、これはいわゆる車検であり、定期的に行う検査で、乗用車であれば、初回が3年、その後2年ごとに実施し、トラック、バスなどの事業用車両では、毎年行われるものとなる。先述した通り、この継続検査は、指定整備工場でも行うことが可能で、継続検査全体の7割以上は指定整備工場で実施されている。

最後に街頭検査と言われるものがある。これは、国や警察とも連携して行うことが多いが、整備不良車や不正改造車等の排除のために路上等において行われる検査となる。

検査の種別がいくつかあることは先ほど述べた通りだが、その検査における機構の役割についてもう少し詳しく触れたい。

自動車の諸元の確定に関わる3つの検査（→新規検査、予備検査、構造等変更検査）は、自動車関連制度となる税金や免許、保険の土台作りとなる基礎を担っている。つまり、自動車はその目的に応じて、様々な形状や用途が車1台ごとに異なった仕様となるが、諸制度と関連した基礎情報が必要となる。そのため、機構では、通常の基準適合性審査に加えて、自動車の長さ、幅、重量などの基本諸元、種別などを確定するという役割を担っている（図5参照）。

（図5）自動車関連制度の土台作り



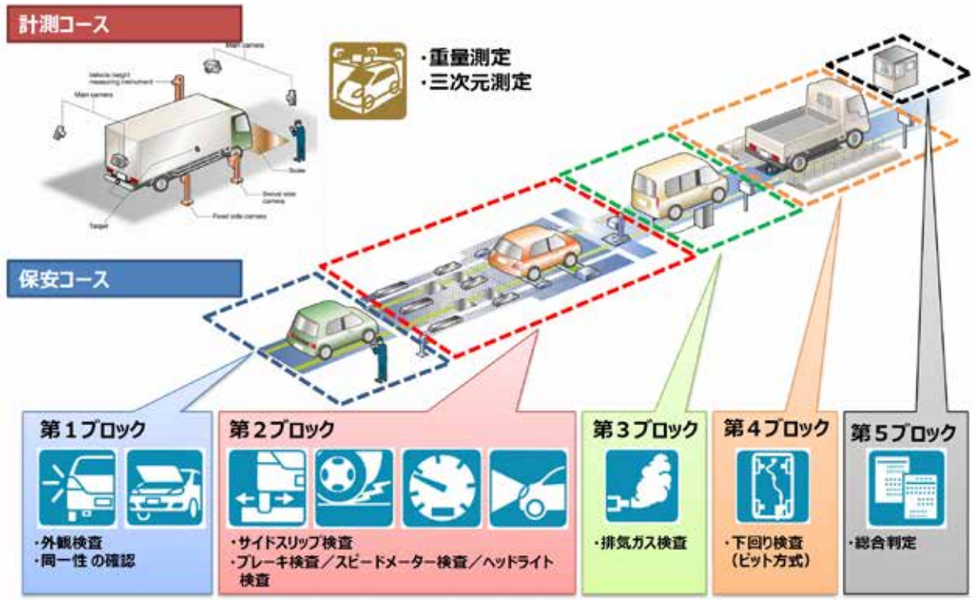
この基本諸元や用途や種別に応じて、自動車重量税・自動車税、自賠責保険料、運転免許種類、エコカー減税等の燃費値特定などもあり、最近ではさらに走行距離のチェックなども行っており、自動車に関する戸籍と健康診断結果を自動車検査証が担うイメージとなっている。そういう意味でとても重要なものとなるのだが、一方でトラックなどの車両重量を偽り、検査後に不正に架装して積載量を水増しするなどの不正事案が発生し、制度の根幹が揺らぐ事態があったために、それを防止するための取り組みとして、検査の高度化を目指して高度化施設というものが取り入れられた。その点については次のパートで詳述する。

（図6）は、検査場における検査の流れを表している。このようなコースを複数持った機構の事務所が全国で93ヶ所ある。検査の業務量が多いところは、複数コース設置されており、組み合わせとしては、計測コースと保安コースがそれぞれ最低1つずつあることとなる。計測コースは、主に新規検査で使われることとなるが、自動車の寸法、重量等の諸元の測定を行う。保安コースでは、自動車の安全性能、排気ガス低減性能の確認を行う。こちらは新規検査のみならず継続検査でも使われる。

・第一ブロック　ここで走行距離メーターのチェック。車台番号の確認は盗難車の流通防止にも寄与する。
・第二ブロック　サイドスリップのチェックにより、高速走行時の直進安定性を確認。ヘッドライトでは光軸がずれると対向車を幻惑してしまう危険性をチェック。
・第四ブロック　がた、ゆるみ、ブーツの破損、オイル漏れ、見えにくい部分のチェック

近年の大きな課題としては、事故の防止、安全対策が挙げられる。この自動車の検査については、効率化の観点などから、受検者が自ら、車を操作する手法を取っている。もちろん指示等は検査官が行い、また機器等から指示が的確に出され、それに基づいて行うという連携作業となるが、思わぬ不具合や操作ミスなどによる事故、さらに高齢者による受検で事故が防げない状況が発生している。日本社会全体の課題である高齢化対策については、機構の検査の現場でも重要となっている。

（図6）検査場における検査



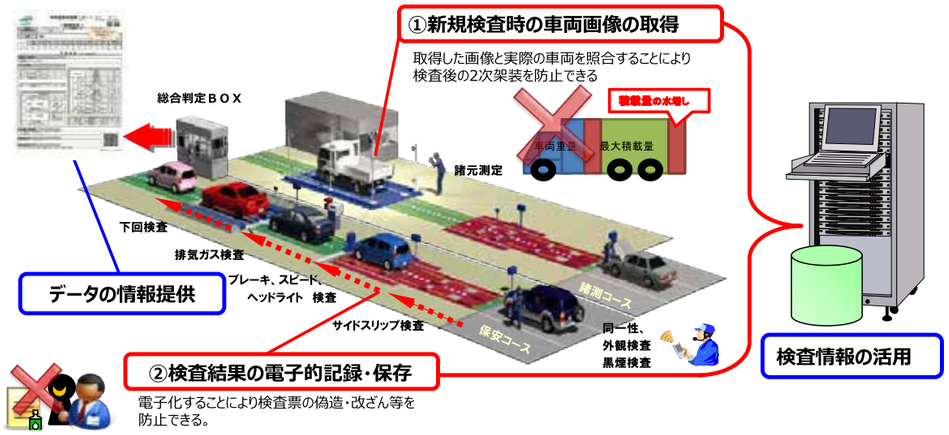
検査の高度化に向けた高度化施設については（図7）を参照頂きたい。

高度化施設は平成20年頃から、不正受検や検査後の2次架装の防止や、検査結果が電子化されることにより、検査情報の有効活用に資することを目的に導入されている。そのため主に2種類の機器から構成されている。

①新規検査等における車両の状態を画像等で取得する機器
②検査結果等について電子的に記録・保存する機器

このITを利用した3次元測定・画像取得装置の導入によって、新規検査等において高精度な諸元の測定と車両の画像取得を行

（図7）高度化施設



い、電子的に記録・保存出来ることとなった。取得した画像データで、検査後の不正な二次架装を防止することができる。ご承知のとおり自動車については、車軸の限度等に応じて、最大積載量が決まる。後に不正に架装することで車両総重量が大きくなると、車自体も危険だが、道路インフラ側のダメージも大きくなる。状況によっては大きな事故を引き起こす可能性もあり、不正な二次架装が発見された時は社会的な関心も大きくなるので、関係した事業者側にも大きな影響を与えてしまう。そのようなことがないように取り組んでいる。

また受検者へのサービスとしては、検査結果の詳細データを総合判定ボックスで提供することができる。検査後の整備などにも有効活用してもらえることとなる。ちなみに高度化施設については、改善とさらなる活用方策にも取り組んでいる。改善については、具体的には以下の2つが挙げられる。

①平成２７年４月から、高度化施設とMOTASを連携させることにより、検査結果の国への受け渡しを紙媒体から電子媒体に変更。これにより、受検者が登録申請時に申請書面の一部を省略することが可能となるため利用者利便の向上に寄与するとともに、不正車検防止対策の強化を図る。

②今後、検査データの通信方式を改良し、ＲＦＩＤ方式等の導入を検討。これにより受検者が検査コースで降車する必要がなくなる。事故防止や利便性の向上が期待され、また、検査票の改ざんや車両のすり替えといった不正の防止の更なる徹底を目指す。

そして更なる活用方策については、例えば以下の3つが挙げられる。

①電子化された検査情報について、車種ごと、型式ごと、装置ごと等で集計・分析を行うことで、検査の重点化などが可能となる。

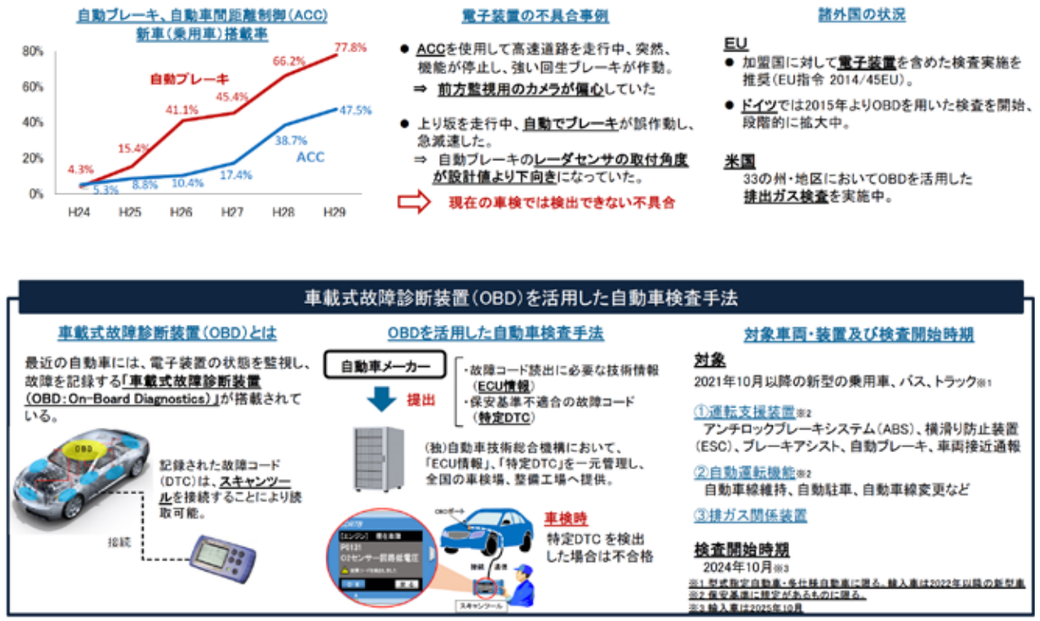
②新規検査時の検査データの指定整備事業者への提供を検討。これにより、整備事業者は入庫した車両が構造等変更検査に該当するか否かについて正確かつ容易に判定することが可能となる。

③国で開催された「自動車関連情報の利活用に関する将来ビジョン検討会」での検討結果を受け、今後、国と連携し、検査情報と整備情報を収集・集積した上で一体的に分析し、不具合発生率の高い部位に重点を置いた検査を実施するなど、情報の更なる活用方策を検討する。

3.OBD検査導入に向けた取り組み

最後に、OBD検査の導入に向けた取り組みについて、大きく2つに分けて解説する。これはまさに将来に向けた取り組みであり、整備工場の新たな方向性となる特定整備制度とも大きく関係するものである。

（図8）OBD検査の概要



（1）OBD検査の概要について

まずは、OBD検査の概要から説明する。近年、自動ブレーキなど自動運転技術の進化・普及が急速に進展しているが、故障した場合には、誤作動による重大事故等につながるおそれがあることから、自動車の検査等を通じた機能確認が必要となっている。しかし、これまで説明した通り、現在の使用過程時の自動車の検査(車検)は、外観や測定器を使用した機能確認により行われているが、自動運転技術等に用いられる電子装置の機能確認には対応していない。

AEBS、いわゆる自動ブレーキについては、これまで急速に普及してきており、新車乗用車に占める装置の搭載率は平成29年で77.8%まで上がったが（図8参照）、令和元年には約9割に達している。AEBSについては、既に国際基準も作られており、段階的に性能が引き上げられ、国も義務化を決定している。

ちなみに、令和2年の交通事故の死者数は2,839人。これは前年の3,215人から300人以上減少しており、減少傾向が続く近年でもかなり画期的な数字となっている。また世界的に見ても、安全度が高い結果となっており、例えば同じ自動車先進国の米国と比較すると、米国は毎年3万人以上が交通事故で亡くなっており、人口比を考慮しても、日本は1/4程度であり、欧州の国を含めても世界トップクラスとなっている。

これはこれまで、人、道、車への対策を様々な関係者が取り組んだ結果といえるが、近年の傾向としては、車両対策の充実が極

めて大きな効果を出しているとも言われている。衝突時の安全性向上から、さらにAEBSのような予防安全技術の普及が寄与しているのは確かだろう。

しかしながら、ここにきて大きな課題が2点顕在化してきている。1点目が高齢ドライバーによる事故の増加。そしてもう1点目が先進安全装置への過信が導く事故の発生である。

高齢ドライバーによる事故については、様々な報道もあり、承知のことだと思うが、データ上は極端に増加しているわけではなく、相対的に比重が高くなっているものである。ただし、社会問題化しており、その対策は急務となっている。その結果として、AEBSの普及さらに義務化、そして高齢者特有の対策に踏み間違い防止装置の普及という施策がある。これ自体は効果が強く期待されるものだが、その進展とともに、もう一つの課題が浮かび上がってくる。これらの装置の不具合対策である。

ここに電子装置の不具合事例を示す。

■ACCを使用して高速道路を走行中、突然、機能が停止し、強い回生ブレーキが作動。

⇒前方監視用のカメラが偏心していた

■上り坂を走行中、自動でブレーキが誤作動し、急減速した。

⇒自動ブレーキのレーダセンサの取付角度が設計値より下向きになっていた。

これらは現在の検査では検出できない不具合である。そのため車載式故障診断装置、いわゆるOBDを活用した自動車の検査手法が検討された。OBDとは、エンジンやトランスミッションなどの電子制御装置（ECU）内部に搭載された故障診断装置である。ECU（Electronic Control Unit)は、自動車が安全環境性能を発揮するため、センサから信号等に基づき最適な制御を行っているが、断線やセンサの機能異常等の不具合が生じた場合には、その情報をECUに自動記録する。近年の自動車には多数のECUが搭載され、協調制御を行っている。

このECU内に記録された不具合情報などをOBDを活用して審査するのがOBD検査となる。そのために必要な技術情報と、それを管理するシステム（サーバー）について、検討･準備している段階である。

（2）準備状況について（技術情報の検討、実証実験、今後の予定等）

機構サーバーで管理するものとしては、自動車メーカーが型式等に応じて設定する技術情報となるが、主に以下の2つとなる。

①スキャンツールを自動車の電子制御装置へ接続するための情報

⇒読み出し先のECUの番号は、検査対象となる（たとえばAEBS）を制御するECUを指定して接続するために必要となる。

また故障コードを読み出すための命令、つまり通信プロトコル（通信速度や返信等のルール）が必要となる。

②保安基準に不適合となる故障コード（特定DTC）の一覧

⇒装置の故障コードは多数あるが、その中でも保安基準不適合となる故障に係るものの情報が必要。

ちなみにOBDが検出する不具合の例としては、

■電子回路の配線の断線

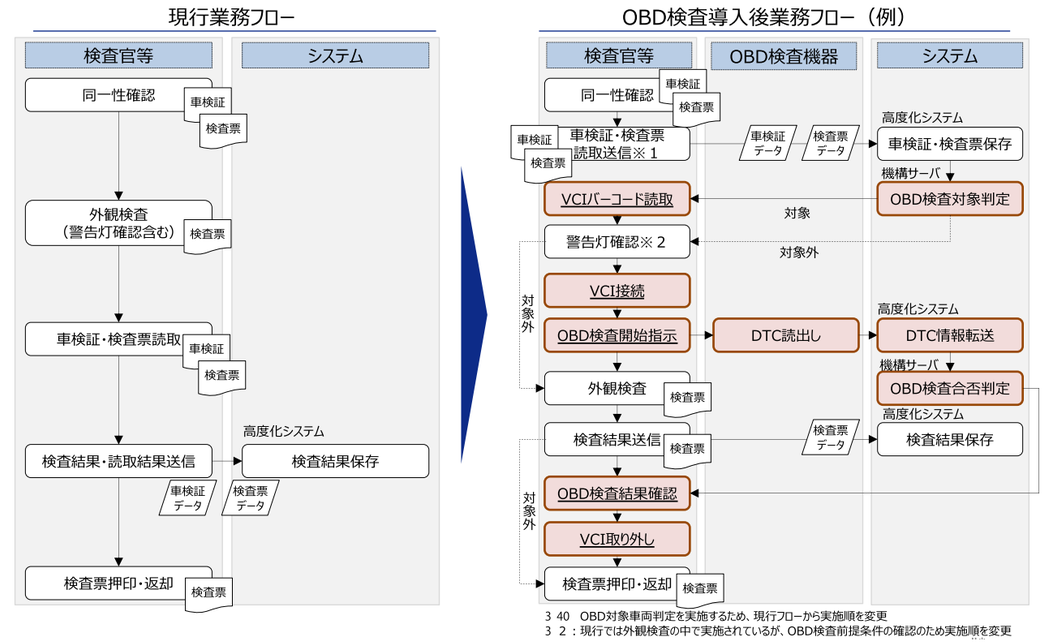
■各種センサーからの異常信号

■センサーの入力値に基づいて演算する性能異常値

などがある。その中ですべてが保安基準違反とまで言えるわけではない。具体的な例とすると、例えば、ある3つの故障コードC0051とP2583とU0164が検出されたとして、最初はミリ波レーダ内部故障、次がブレーキスイッチ回路異常であれば、それらは保安基準違反となる特定DTC、最後が、エアコンECU通信途絶であれば、基準違反とまでは言えない普通の故障コードと言える。これが“ただのDTC”と“特定DTC”の違いとなる。なお、このような情報は極めて重要なものとなるので、セキュリティの確保は高いレベルで設定しておく必要がある。

技術情報について検討して、下記（図9）のような業務フローを念頭に、現在、実証実験を行っている。

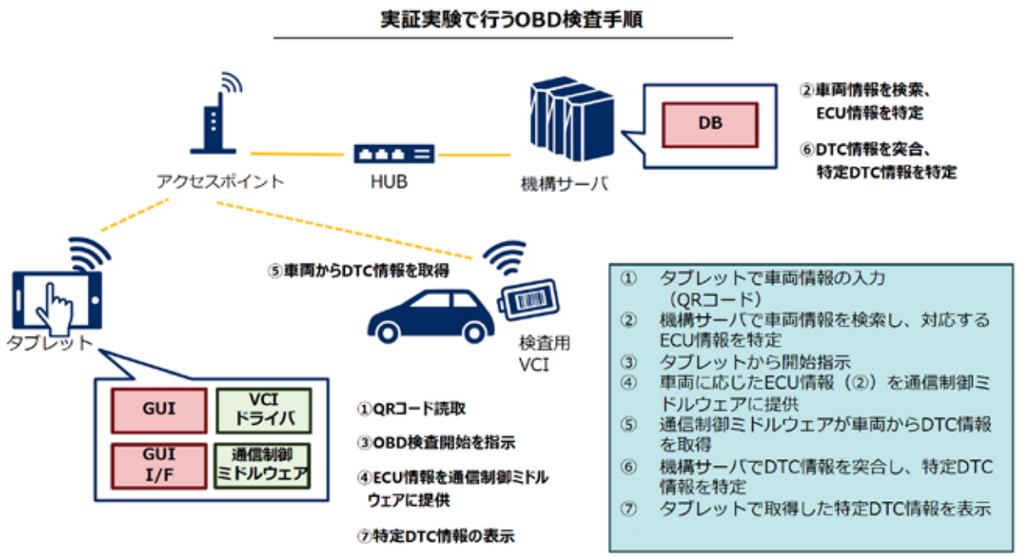
（図9）OBD検査の流れ



3 40　OBD対象車両判定を実施するため、現行フローから実施順を変更

3 2 ：現行では外観検査の中で実施されているが、OBD検査前提条件の確認のため実施順を変更

（参考）実証実験イメージ



また、指定整備工場についてはOBD検査に対応したスキャンツールを用いる。これを法定スキャンツールと言うが、これが重要となる。通常、外部診断機を自動車スキャンツールと言うが、自動車メーカーが自社製の車両の整備のために製造するものを専用スキャンツールと言い、ツールメーカーが製造し複数メーカーの車両に対応するものを汎用スキャンツールと言う。

どのようなスキャンツールで対応が可能かについては、今後の開発次第だが、法定スキャンツールとなるための機能としては、主に4つが挙げられる。

①機構が開発して無料で提供する特定DTC照会アプリをインストールして動作できること

②自動車検査証のQRコードや今後普及が想定される電子検査証を読み取ることにより、検査車両を適切に特定できること

③自動車のOBDポートを介して、自動車のECUに接続し、記録された故障コードを読み出せること

④特定DTC照会アプリの機能によって、インターネットを介して、機構サーバーに接続して、DTC情報の送信をして、その後判定結果の受信ができること

これができるようスキャンツールを改良あるいは、新規開発することをこれから機器メーカーとも相談していくこととなる。国の施策において、将来的な自動運転車両までを視野に入れて、先進安全装備を搭載した車の点検・整備を念頭に特定整備制度が令和2年4月に導入されている。その制度に基づく特定整備認証の取得が進み始めており、同年10月末の数字で、電子制御装置整備にかかる認証取得件数は約2,300件となっている。コロナ等の影響もあり、まだまだ少ない数字ではあるものの、今後、OBD検査も念頭に入れて、増えていくことが想定されている。

国交省によると、エーミング作業などを行うこととなる電子制御装置整備の対象車種は、令和2年11月末で国内外のメーカーを合わせて112車種ということで、この数字も増加していくことが想定される。

技術の進歩や社会のニーズに沿った大きな流れの中で、自動車の点検整備を行う全国9万の認証事業者、そして検査を行う3万の指定整備事業者、そして機構は、確実に対応が必要となっている。

(3) 今後のスケジュール

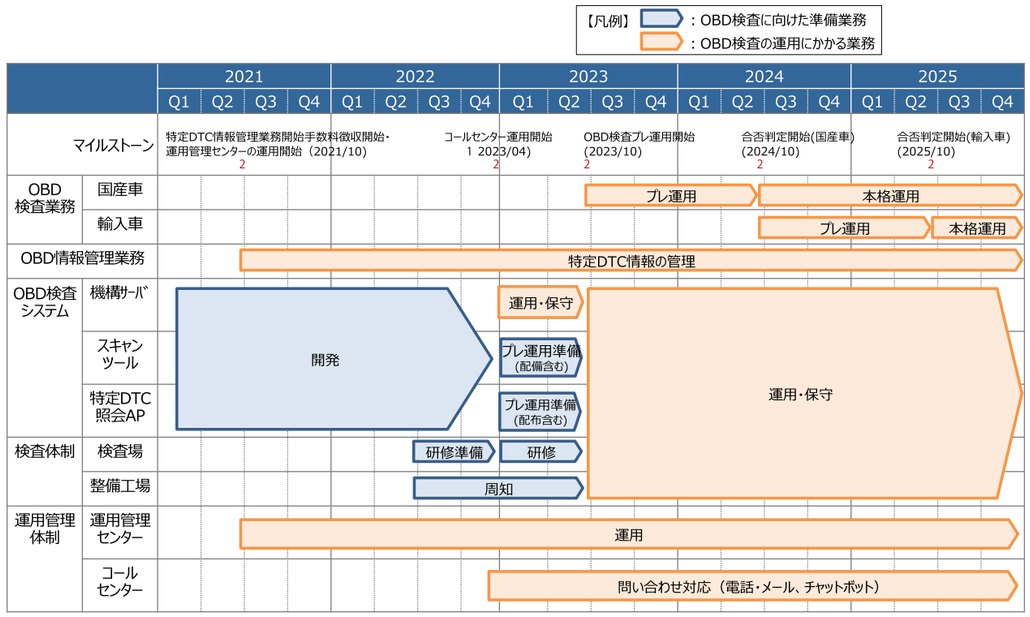
（図10）は、今後のスケジュールを示した表となる。令和6年10月の運用開始ということだが、対象となるのは、令和3年10月以降の新型で製造される乗用車、バス、トラックとなる。そのため、これらのECUや特定DTCの技術情報を令和3年10月から製造メーカーから取得して、機構で管理することとなる。対象となる装置は、保安基準の規定がある運転支援装置、つまりアンチロックブレーキシステム（ABS）、横滑り防止装置（ESC）、ブレーキアシスト、自動ブレーキ、車両接近通報装置などとなる。今後、踏み間違い防止装置などが規定化されれば、対象装置となる可能性がある。さらに自動運転機能については、例えば自動車線維持、自動駐車装置、自動車線変更装置などがあり、今まさにレベル3の自動運行機能が国内メーカーからも発表され、今後さらに高度な装置が普及する過程に来ているので、それらが対象となる。さらにすでに規定もある排ガス関係装置も対象となる。

検査開始時期は、国産車と輸入車では1年のずれを設けている。また開始までの間に内部での実証実験や関係者との連携によるプレテスト、さらに実施1年前にはプレ運用をして、システム上のバグを見つけたり、運用面の様々な課題を抽出して解決していく予定だ。どちらにしても、全国の指定整備事業者も含めた大きな取り組みとなるため、様々な知見を集めて準備をしていく必要がある。

なお諸外国でも検討が行われており、例えば欧州では、電子装置の検査を推奨する指令が出ており、それに基づき幾つかの国ではOBD検査の段階的な導入を試みている状況である。米国では、排ガス検査にOBDを活用しており、韓国や中国でもEVの普及を念頭に、OBD検査を促進させるという動きがあるとのことだ。

今後は、OBD検査に関連する安全基準などの策定と国際的な調和が、国連の自動車基準国際調和フォーラム、いわゆるWP29という会議体において検討が進む可能性があり、その場合、これまで述べてきた「OBD検査」が世界で最も先進的な取り組みであることから、日本がけん引役となることが必要とされる。

（図10）2025年度までの今後のスケジュール



指定自動車整備工場の猶予期間／業種別特定整備対応マニュアル

指定自動車整備工場の猶予期間について

電子制御装置整備の認証のない指定自動車整備工場の業務可能範囲

- 保安基準適合証の交付をするには、点検基準に従って点検・整備を行った上で、保安基準適合性の確認を行う制度となっている（道路運送車両法第94条の5）。
- このため、新点検基準が施行になると、原則として、電子制御装置整備に係る特定整備の認証を受けていない場合は、保安基準適合証を交付することはできない。
- ただし、電子制御装置整備に該当する装置を備え付けていない自動車については、当面の間、保安基準適合証の交付が可能。

＜電子制御装置整備に該当する装置を備え付けている自動車についての保適証交付の可否＞

出典：国土交通省「特定整備制度概要」より

特定整備対応マニュアルのダウンロードなど

国土交通省のホームページから、各事業者向けの「特定整備対応マニュアル」を閲覧いただけます。

自動車分解整備事業者（認証工場）向け

指定自動車整備事業者向け

自動車車体整備／電装品整備事業者向け

自動車ガラス修理事業者向け

詳しくはこちら▶

国土交通省HP「自動車特定整備事業について」

https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr9_000016.html

The 18th International Auto Aftermarket EXPO 2021ONLINE

International Auto Aftermarket EXPO 2021 ONLINE Vol.1

GUIDEBOOK

CONTENTS

開催概要 …… 22
セミナースケジュール …… 24
バーチャルフロアMAP …… 30
出展者一覧 …… 31

開催概要

［名　　称］ 第18回国際オートアフターマーケットEXPO2021 ONLINE Vol.1 （略称：IAAE2021 ONLINE）
［会　　期］ 2021年3月17日（水）～19日（金）
［会　　場］ オンライン（特設WEBサイト）、東京ビッグサイト（セミナーライブ配信のみ）
［主　　催］ 国際オートアフターマーケットEXPO実行委員会
実行委員会構成メンバー
○自動車部品・用品関連団体（14団体）
一般社団法人日本自動車部品工業会 / 全国自動車部品販売店連合会
一般社団法人日本自動車販売協会連合会 / 一般社団法人日本自動車機械器具工業会
一般社団法人日本オートケミカル工業会 / 一般社団法人日本自動車整備振興会連合会
全国自動車用品工業会 / 日本フィルターエレメント工業会 / 一般社団法人日本自動車部品協会
一般社団法人日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 / 全日本自動車部品卸商協同組合
一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会 / 一般社団法人自動車用品小売業協会
リビルド工業会全国連合会
○日刊自動車新聞社
○株式会社ジェイシーレゾナンス
［後　　援］ 経済産業省 / 国土交通省 / 総務省 / 独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）
独立行政法人自動車技術総合機構 / 独立行政法人中小企業基盤整備機構
［協　　賛］ 一般社団法人日本自動車工業会 / 日本自動車輸入組合 / 一般社団法人電池工業会
一般社団法人日本自動車タイヤ協会 / 一般社団法人全国軽自動車協会連合会
一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会 / 日本自動車車体整備協同組合連合会
石油連盟 / 一般社団法人日本自動車機械工具協会 / 一般社団法人日本損害保険協会
一般社団法人日本自動車連盟 / 一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会
公益社団法人全日本トラック協会 / 公益社団法人日本バス協会
一般社団法人日本自動車リース協会連合会 / 全国石油商業組合連合会
全国タイヤ商工協同組合連合会 / 日本ウインドウ・フィルム工業会 / 日本カーディテイリング協会
一般社団法人日本自動車リサイクル機構 / 一般社団法人日本オートオークション協議会
BSサミット事業協同組合 / 全日本ラヂエーター工業会 / 日本自動車ガラス販売施工事業協同組合
全日本ロータス同友会 / ロータストラックネット / 全国自動車整備協業協同組合協議会
全国自動車電装品整備商工組合連合会 / インターネットITS協議会
一般財団法人日本溶接技術センター / 一般財団法人日本自動車査定協会
一般社団法人日本自動車流通研究所 / 全国ディーゼルポンプ振興会連合会 / 台湾貿易センター
一般社団法人電気自動車普及協会 / 一般社団法人軽金属溶接協会
一般社団法人日本輸入車整備推進協会 / 一般社団法人日本自動車購入協会
［特別協力］ オートアフターマーケット連絡協議会 / オートアフターマーケット活性化連合（AAAL）
アフターマーケットサプライヤー活性化委員会（AAC）
［ﾒﾃﾞｨｱﾊﾟｰﾄﾅｰ］ 日刊自動車新聞 / 整備戦略 / カーディテイリングニュース / AUTOMOTIVEアフターマーケット
自動車優良部品 / せいび界 / レスポンス / サービス戦略 / 日刊油業報知新聞 / 保険毎日新聞
月刊ガソリン・スタンド / CAR CARE PLUS
［サテライト会場］ 山形・秋田・宮城 【協力：株式会社山形部品】 / 京都 【協力：株式会社大黒商会】
福岡 【協力：株式会社ランテル】
［入 場 料］ 無料（WEBにて来場事前登録必須）

OUTLINE

Exhibition title　The 18th International Auto Aftermarket EXPO 2021 ONLINE (IAAE2021 ONLINE)
Date　March 17th (Wednesday) - 19th (Friday), 2021
Venue　ONLINE: Exclusive website
Organized by　International Auto Aftermarket EXPO Steering Committee
• Auto parts and accessories related associations (14 members)
Auto-Parts & Accessories Retail Association (APARA)
Japan Auto Accessories Manufacturers' Association (JAAMA)
Japan Auto Chemical Industry Association
Japan Auto Parts Industries Association (JAPIA)
Japan Automobile Dealers Association (JADA)
Japan Automobile Service Promotion Association
Japan Automotive Machinery and Tool Manufactures Association (JAMTA)
Japan Automotive Parts and Accessories Distributors Association (JAPADA)
Japan Automotive Parts Recyclers Association (JAPRA)
Japan Automotive Products Association (JAPA)
Japan Autoparts Wholesalers Association
Japan Automotive Filter Element Association
Nippon Auto Parts Aftermarket Committee (NAPAC)
Rebuilt Manufacturers Association Japan
• Nikkan Jidosha Shimbun (Daily Automotive News)
• JC Resonance Co., Ltd.
Sponsored by　Ministry of Economy, Trade and Industry / Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism / Ministry of Internal Affairs and Communications / Japan External Trade Organization (JETRO) / National Agency for Automobile and Land Transport Technology / Embassy of the Republic of Korea, Department of Commerce / Office of Commercial Affairs, Royal Thai Embassy (Last record)
Supported by　Japan Automobile Manufactures Associations, Inc. (JAMA)/ The Japan Automobile Tyre Manufacturers Association,Inc. (JATMA) Taiwan External Trade Development Council (TAITRA) / Japan Trucking Association / and other 35 relevant association (Last record)
Special cooperation by　Auto Aftermarket Liaison Council / Automotive Aftermarket Action League (AAAL) / Aftermarket Suppliers Activation Committee (AAC) (Last record)
Media partner　Nikkan Jidosha Shimbun / Seibi Senryaku / Car Detailing News / AUTOMOTIVE Aftermarket / Jidosha Yuryo Buhin / Seibikai / Response / Service Strategy / Yugyo Hochi Shimbun / Hoken Mainichi Shimbun / Monthly Gasoline Stand / Car Care Plus (Last record)
Admission fee　Free of charge *online pre-registration is required

3月17日(水) セミナースケジュール

聴講無料

Aチャンネル

自動車補修部品

A-11 10:30〜11:30

[第5回] 自動車補修部品ビジネスフォーラム
多様化する補修部品
〜旧車パーツ・ジェネリックパーツの新しい潮流〜

平均車齢が伸びている市場の環境の中で、補修部品にも新しい動きが顕在化してきています。
従来、純正や優良などをはじめ、嗜好性の高いスペシャリティパーツなどにセグメントされていた市場も変化していくことになるのではないでしょうか。そのような背景の中で今回は自動車メーカー、インポーター、部品メーカーそれぞれの立場から現状の取り組みや今後の展望をお伺いしたいと思います。ヘリテージパーツやジェネリックパーツなど新しい潮流で、新しいビジネスの可能性を見い出すことができるプログラムです。

Groupe PSA Japan株式会社
パーツ・サービス部
アフターセールスプロモーション・グループマネジャー
富岡 久 氏

トヨタ自動車株式会社
GAZOO Racing Company
GRヘリテージパーツプロジェクト担当
結城 貴虎 氏

藤壺技研工業株式会社
営業企画部　特販事業室
取締役　室長
小島 保彦 氏

<モデレータ>
国際オートアフターマーケットEXPO 運営事務局長
株式会社ジェイシーレゾナンス　代表取締役社長
松永 博司

A-12 12:00〜12:45

2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略(自動車産業編)

世界的に進むカーボンニュートラルの動きにあわせて、パワートレインの電動化など、自動車産業にも大きな変化が顕在化していく中で、国内の自動車アフターマーケットも影響を受けることが予想されます。このような状況を正確に理解するために、自動車産業全体の構造変化についてご講演いただく予定です。

経済産業省
製造産業局自動車課
課長補佐(部品担当)
大崎 友和 氏

行政関連

A-13 13:15〜14:00

自動車検査登録手続のデジタル化
〜自動車OSS及び自動車検査証の電子化について〜

政府全体での行政手続のデジタル化が一層加速するなか、自動車関連においては、複数にわたる行政機関への訪問を不要とし、オンラインで一括して申請することを可能とする「自動車保有関係手続のワンストップ・サービス(OSS)」の推進、及びその効果を最大化するため、指定整備事業者等において車検証有効期間等の更新を可能とする「自動車検査証の電子化」が重要となっています。今回は、この2つの取組を主軸として、自動車関連手続のデジタル化の動きについてご紹介いたします。

国土交通省 自動車局
自動車情報課 課長補佐
森原 紀代子 氏

A-14 14:30〜15:15

自動車整備・検査の高度化について

自動ブレーキなどの先進技術の普及や自動運転技術の開発が進んでいる。これらの技術は、交通事故防止に大きな効果が期待される一方で故障時には誤作動等により事故につながる恐れもあることから、使用過程において適切に機能の維持を図っていくことが重要。
令和2年4月に施行した「特定整備」制度や令和6年から開始を予定している電子的な検査(OBD検査)の狙いや最新の動向について紹介いたします。

国土交通省 自動車局整備課
課長補佐(総括)
髙瀬 竜児 氏

A-15 15:45〜16:30

自動車検査の現状と今後の取り組み

自動車技術総合機構は、自動車社会を支えるために、国と緊密に連携し、道路運送車両法に基づく自動車の基準適合性審査やリコール技術検証、国が行う基準策定に係る研究をはじめ、自動車の設計から使用段階までの総合的な対応を、独立行政法人として、厳正かつ公正に実施しています。将来に向けた取り組みとして、令和2年4月に施行した改正道路運送車両法に基づき、先進安全技術を念頭においたOBD 検査に必要な情報を一元管理する役割を担うことになっており、現在、令和6年のOBD検査の円滑な導入に向けて実証実験を進め、関係者との連携が図れるよう、準備を進めています。現状の取り組みや今後についてご紹介いたします。

独立行政法人
自動車技術総合機構 審議役
猪股 博之 氏

Bチャンネル

キャリブレーション

B-11 11:00〜12:30 Ⓒ

次世代自動車への対応技術
(電動パワートレーン・エーミング作業)について

電動パワートレーン対応技術とセンシングデバイスの機能調整(エーミング作業)の注意点および特定認証制度について、また、カメラ・ミリ波レーダー等の標準作業スペースの確認とインテリジェントクリアランスソナー搭載車の注意点について、展示車・プリウスを使用したデモ作業を実施しながらわかり易く解説して頂きます。

株式会社あいおいニッセイ同和
自動車研究所
研修部　整備技術グループ長
小島 一郎 氏

B-12 13:30〜14:15

新しいエイミング・ツール

従来の方法でエイミングを行おうとする場合、整備マニュアルのどこに必要情報が書かれているかを探す必要があったが、メーカー、車種によってこれらの対応作業の名称が異なり、それらを探すことが困難であった。これらを当社の故障診断機にADASアプリを入れることにより、これらの作業のほか、ターゲットの設定も容易となり、故障診断作業も正しく、かつ作業時間の大幅な短縮が図れることが可能となった。

オーテル・インテリジェント・テクノロジー株式会社
COO
飯塚 昭夫 氏

B-13 15:00〜15:45

今後の自動車整備の盲点を攻略!

今後、サイバーセキュリティーへの対応、特定整備の本格始動、OBD車検の開始などが差し迫っています。世界トップクラスの自動車機器サプライヤーであるボッシュは、世界的な自動車の進化、法整備の動向を交えながら、今後の自動車整備の盲点を解説し、それに対する対応策を紹介いたします。

ボッシュ株式会社
アフターマーケット事業部
テクニカルサービス&サポート部
ゼネラルマネージャー
里 廉太郎 氏

Ⓒ このマークの付いている、B-11、B-21、B-31は同じ内容のセミナーです。

セミナー聴講方法

●特設サイト内のセミナーメニューから聴講希望のプログラムをクリックすることで、全て無料で聴講いただけます。
●3月20日(土)〜3月23日(火)の間、アーカイブ配信を予定しております。

各セミナーとセミナーの間には、出展者のPR動画を配信いたしますのでぜひご覧ください。

Cチャンネル

行政関連

C-11 11:00〜11:45

自動運転社会の実現に向けた総務省の取り組みについて

自動運転に対しては、交通事故削減・渋滞緩和、移動弱者支援や物流ドライバー不足解消等への期待が寄せられています。
本講演では、通信行政の側面から自動運転社会の実現に向けた総務省の取り組みを海外動向を交えながらご紹介いたします。
また、昨年3月から商用サービスが開始された5Gに関する取組みをご紹介するとともに、5G時代のコネクテッドカー、自動運転の姿に関してもお話しいたします。

総務省　総合通信基盤局
電波部 移動通信課
課長補佐
江原 真一郎 氏

保険

C-12 12:30〜14:00

変わりゆく損害保険市場

第1部　保険の現状と今後 12:30〜13:10

衝突被害軽減ブレーキやACCなどの普及に伴う自動車事故の減少をはじめ、自動運行装置を搭載したレベル3の自動車が型式指定を受けるなど、自動車保険が大きく変化していくことが予想されています。そのような背景の中で、現在の自動車保険の動向や今後の展望をお話し頂きます。

一般社団法人 日本損害保険協会
業務企画部 自動車・海上グループ
係長
大良 美徳 氏

第2部　オートリース会社ならではの新サービスについて 〜自動車保険編〜 13:20〜14:00

自動車リースに関する自動車保険において、車両補償に加入しない企業が少なからず存在します。①車両補償の保険料が高い、②事故実績によって自動車保険全体の保険料が大きく変動してしまう、といったご意見もあります。お客様のニーズを充足するような独自サービスを設計し、当社のテレマティクス車載器を装着しているドライバーの運転挙動を分析することにより将来的な事故リスクを算定し、保険料に反映させる仕組みの構築を検討しています。

住友三井オートサービス株式会社
モビリティソリューション開発部
菅原 崇人 氏

海外

C-13 15:00〜16:30　通訳あり Bilingual

海外における車体整備の動向と今後の展望
〜欧米に学ぶ自動車修理の最前線〜

第1部　2021年以降の自動車車体整備における課題 15:00〜15:45

近年、世界各国の車体整備事情は劇的に変化しています。2020年もしかり膨大な数の課題を抱えています。現在、御社はこの状況に対して目に見える安心感を得られていますか?それとも問題は増え続けていますか?このウェビナーでは新たな自動車技術や業界を取り巻く環境、
それぞれに関連する課題についてご説明いたします。

Collision Hub
Director of Industry Relations
Jason B. Bartanen 氏

第2部　海外車体整備セミナー 15:45〜16:30

自動車のインシュアビリティ(保険引受能力)とリペアビリティ(修復能力)はデザイン次第で向上します。各自動車メーカーはより多くのことを考慮し、将来に向けて設計及び開発をする事が重要になってきます。いま、エンドユーザーは自動車所有のライフサイクルコストについて関心があります。メーカーが自動車保険・車体修理分野の支援により注目すれば、販売量の拡大とマーケット内における自社ブランドの魅力向上にもつながるでしょう。

Thatcham Research
Management Board
Chief Revenue Officer
Miller Crockart 氏

Dチャンネル

出展者プレゼン

D-11 11:00〜11:45

スマホ1台で○億円!
手のひら集客術大公開!

人材確保が難しい時代、0円で24時間365日働き続ける営業マンを何人でも雇えるとしたら?あなたは何人ほしいですか?誰でもスマホ一つで簡単にできる集客術を大公開します!

HI-LINE22株式会社
代表取締役
平井 宏治 氏

D-12 12:30〜13:15

オートアフターマーケットにおける画像認識AIの可能性について

弊社はロンドン発のAIスタートアップです。現在、自動車の損害算定を自動化するAIソリューションを開発しております。自動車の高度化による業務負荷や、人手不足が深刻化する中で、オートアフターマーケットにおける画像認識AIの貢献価値や海外の活用事例を共有させて頂ければと考えております。幅広い業界関係者の皆様と意見交換させて頂けると幸いです。

Tractable株式会社
日本カントリーマネージャー兼
APAC統括責任者
堀田 翼 氏

D-13 14:00〜14:45

2021カーラッピングビジネスの展望

世界で流行り始めた車の色をフィルムでカラーリングチェンジするカーラッピング。世界の現状を日本と比較して今後どのように発展するか?カーラッピングビジネス35年の歴史を経験しているYMG1代表の山家(やまが)が詳しくお話します。

株式会社ワイエムジーワン
代表取締役
山家 一繁 氏

特設WEBサイト
3/17(水) OPEN!

※日時・タイトル・講師・内容等、都合により一部変更となる場合がございます。最新情報は公式WEBサイトをご確認ください。

3月18日(木) セミナースケジュール

聴講無料

Aチャンネル

地域連携

A-21 10:30〜12:00

電子制御装置整備への対応に欠かせない地域連携
〜広義のアフターマーケットネットワークが未来を作る〜

特定整備認証によってクローズアップされた電子制御装置整備への対応は今後の命運を握ると言っても過言ではありません。コンプライアンスという側面においても、顧客へのサービスレベルを保つ意味でも重要になる一方で、投資対効果を考えると判断に悩む経営者が多いのが現状ではないでしょうか。実際にエーミング作業やガラス交換などの電子制御装置整備を展開している立場を交えながら地域連携の重要性をお話し頂く貴重なプログラムです。

オートファーベン株式会社
チーフテクニカルアドバイザー
沓澤 伸 氏

国際オートアフターマーケットEXPO 運営事務局長
株式会社ジェイシーレゾナンス　代表取締役社長
松永 博司

車検

A-22 13:00〜14:30

変わりゆく車検の現状と今後
〜過渡期のビジネス環境をいかに捉えるか〜

自動運行装置を搭載した車両の型式認定が行われた中で、整備業界も特定整備認証からはじまり点検基準の変更、特定 DTC を活用した検査へとビジネス環境も変化していきます。今回はそのような背景の中で車検事業を営む事業者にお集まり頂き、過渡期の現状や今後の展望などをお話し頂きます。

株式会社カマド
代表取締役社長
小林 雅彦 氏

坂井モーター株式会社
代表取締役社長
坂井 光蔵 氏

<モデレータ>
国際オートアフターマーケットEXPO 運営事務局長
株式会社ジェイシーレゾナンス　代表取締役社長
松永 博司

輸入車整備

A-23 15:15〜16:15

注目される輸入車整備ビジネス
〜拡がる輸入車市場へのアプローチ〜

堅調に推移する輸入車市場はユーザーも多様化し、メンテナンス関連ビジネスも拡がりを見せています。一方、自動車整備業界では特定整備認証もはじまり、エーミングをはじめとした電子制御装置整備への対応も必要になっています。このような背景の中で、従来から輸入車整備ビジネスに取り組む方々をお招きし、現在の市況や課題をはじめ、今後の展望などについてお話し頂くパネルディスカッションです。

欧州最強自動車
萩野 潔 氏

協和自動車株式会社
常務取締役
島倉 昌司 氏

シグマ自動車株式会社
代表取締役
前田 匡 氏

<モデレータ>
国際オートアフターマーケットEXPO 運営事務局長
株式会社ジェイシーレゾナンス　代表取締役社長
松永 博司

Bチャンネル

キャリブレーション

B-21 11:00〜12:30 Ⓒ

次世代自動車への対応技術
(電動パワートレーン・エーミング作業)について

電動パワートレーン対応技術とセンシングデバイスの機能調整(エーミング作業)の注意点および特定認証制度について、また、カメラ・ミリ波レーダー等の標準作業スペースの確認とインテリジェントクリアランスソナー搭載車の注意点について、展示車・プリウスを使用したデモ作業を実施しながらわかり易く解説して頂きます。

株式会社あいおいニッセイ同和
自動車研究所
研修部　整備技術グループ長
小島 一郎 氏

B-22 13:30〜14:15

TPM-5によるスピードエーミング

新商品「TPM-5」と新商品「カメラ光軸調整用ターゲットセット」を使用してエーミング作業時間の短縮・簡略化についてご提案いたします。

株式会社ツールプラネット
営業
マネージャー
瀬戸 貴文 氏

B-23 15:00〜15:45

ADASエーミングの基礎知識

特定整備制度が始まり、ADASエーミングの必要性が求められる中、多くの工場が不安を抱えています。今回のセミナーではADASを理解し早く、正確、簡単なエーミングを行うためには、すべてのシステムを理解する技術トレーニングが必要であり、エーミング機材もそれぞれの工場に合った物を揃える必要があります。ベーシックなものから液晶タイプのハイレベルの機材までそれぞれの違いを技術トレーニングの立場から説明します。

明治産業株式会社
国内本部　国内開発部
Seiken e-Garage課
チーフトレーナー
小野 庸司 氏

Ⓒ このマークの付いている、B-11、B-21、B-31は同じ内容のセミナーです。

特設WEBサイト
3/17(水) OPEN!

セミナー聴講方法

- 特設サイト内のセミナーメニューから聴講希望のプログラムをクリックすることで、全て無料で聴講いただけます。
- 3月20日(土)〜3月23日(火)の間、アーカイブ配信を予定しております。

各セミナーとセミナーの間には、出展者のPR動画を配信いたしますのでぜひご覧ください。

Cチャンネル

出展者プレゼン

C-21 11:00〜11:45

HPが頼れる営業スタッフに変身！閲覧数10倍以上、ネット予約年間4,000件まで伸びた秘訣を大公開！

今後ますます厳しさを増す人材不足の時代、猫の手を借りるよりホームページ(HP)の手を借りてお店の営業力をアップです。これによりメカニックやフロントは各自の業務に集中できます。あなたのお店のHPは"作っただけ"になっていませんか?コンピューター屋ではなく、整備工場の現場で実践を重ねてきたHP集客の事例、更には車検ネット予約による業務の効率化について、その秘訣を大公開します。

株式会社ヤマウチ
カーメンテナンスシステム開発部
シニアマネージャー
人見 いづみ 氏

C-22 12:30〜13:15

「Patto」採用で"わ"ナンバー車両収益化にチャレンジ！
〜バーチャルキーで変わるクルマ運用ビジネス〜

マンパワーの削減や非対面サービスを実現できるカーシェア型レンタカーサービスがコロナ禍においても急速に市場を伸ばしています。IAAEをきっかけに生まれた「Patto」の仕組みは、バーチャルキーを利用した採用しやすいオールインワンのオートアフター事業者向けパッケージです。このたび、いち早く「Patto」を導入して地元でのサービス強化に挑戦するセンチュリーオート石井社長とPatto開発メンバーが集まり、この事業の可能性について語り合います。

株式会社イード
レスポンス編集人
三浦 和也 氏

有限会社センチュリーオート
代表取締役
石井 英幸 氏

株式会社スマートバリュー
執行役
上野 真 氏

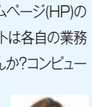
株式会社ジゴワッツ
代表取締役
柴田 知輝 氏

C-23 14:00〜14:45

インテリアリペア(内装補修)を収益の柱に！
〜インテリアリペア(内装補修)を導入するメリットと実演〜

カーシェアや定額制など、「クルマを所有する」というあり方が変化していますが、昨今の状況からマイカー意識の高まっているのも事実です。そんな中、インテリアリペア(内装補修)ビジネスは、両方の視点からみても重要な収益アイテムになりつつあり、カーディーラー・ボディーショップ・中販・SS店など様々な自動車業界でインテリアリペア(内装補修)ビジネスを導入するメリットや導入事例紹介と実演を行います。

有限会社アスナル
代表取締役
宮﨑 慎也 氏

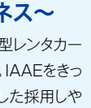


C-24 15:30〜16:15

アフターマーケット商品のラインアップご紹介

akebonoは長年の技術と品質に基づき、お客様のニーズに合わせた補修用製品(アフターマーケット製品)を世界中のお客様に提供しています。今回のプレゼンテーションは、ディスクブレーキパッドのプレミアムバージョンである『K4』(軽自動車向け)や『プロシリーズ』(商用車向け)のご紹介を交えながら、akebonoのアフターマーケットビジネスへの取組みや目指す方向性についてご案内させていただきます。

曙ブレーキ工業株式会社
補修品事業部門　販売2部　部長
柳生 明嗣 氏



Dチャンネル

出展者プレゼン

D-21 10:10〜11:00

DX推進

コロナ禍において企業変革は急務
〜DXで実現する次世代整備工場〜

株式会社ブロードリーフ
DX推進コンサルティング部 部長
楠本 祥雅 氏

D-22 11:10〜12:00

店舗改革/人材育成

10年後生き残るために今この業界でやるべき事は？

株式会社ダイハツ明石西
代表取締役
織田 久史 氏

D-23 12:10〜13:00

集客/顧客管理強化

「売り込まずに売れる仕組みづくり」YouTubeを活用した集客方法

株式会社ラブアンドフリー
代表取締役
高橋 真樹 氏

D-24 13:10〜14:00

業界動向/店舗改革

近未来型の自動車関連業種

カーステーション株式会社
オーナー
寺園 和文 氏

株式会社燃料油脂新聞社
編集局 石油部 編集委員
秋葉 誠一郎 氏

D-25 14:10〜15:00

DX推進

Googleと共に実践するデジタル トランスフォーメーション

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
カスタマー エンジニアリング
Google Workspace スペシャリスト
趙　泰寛 氏

D-26 15:10〜16:00

人材育成/労働環境改善

厳しい経営環境下でも顧客と従業員の双方に選ばれ盤石な経営基盤をつくるES経営手法

株式会社ヒューマンブレークスルー
代表取締役
志田 貴史 氏

※日時・タイトル・講師・内容等、都合により一部変更となる場合がございます。最新情報は公式WEBサイトをご確認ください。

3月19日(金) セミナースケジュール

聴講無料

Aチャンネル

自動車販売戦略

A-31 10:30〜12:00

自動車販売の過渡期
〜多様化する自動車流通の最前線〜

昨今、様々な業界で注目を集めている定額サービス。自動車業界でも従来の販売からサブスクリプションへ動きが活発になっています。
今回は自動車流通が多様化している状況をお伝えし、その背景や今後の展望などについてお話ししていただくパネルディスカッションを企画しました。
自動車流通に関わる方々にとって必聴のプログラムです。

株式会社IDOM CaaS Technology
代表取締役社長
山畑 直樹 氏

株式会社KINTO
副社長執行役員 CSO
本條 聡 氏

損害保険ジャパン株式会社
執行役員 兼
ビジネスデザイン戦略部
部長
中村 愼一 氏

<司会>
株式会社イード
レスポンス編集人
三浦 和也 氏

オートアフターマーケットサミット

A-32 13:30〜15:00

オートアフターマーケット サミット2021

毎年多くの方に聴講頂くオートアフターマーケットサミットは、今年度登壇者を一新いたしました。
様々なアフターの業界から、次の時代を担う団体を代表する方々にご登壇頂き、それぞれの視点でオートアフターマーケットの現状と今後の展望をお話し頂きます。

BSサミット事業協同組合
副理事長
朝日自動車株式会社
代表取締役
藤野 利浩 氏

アフターマーケットサプライヤー
活性化委員会
代表幹事
中村オートパーツ株式会社
代表取締役
中村 秀隆 氏

一般社団法人自動車用品小売業協会
会長
株式会社オートバックスセブン
代表取締役
小林 喜夫巳 氏

全日本ロータス同友会
経営研究室 室長
株式会社くるま生活
代表取締役社長
井上 康一 氏

一般社団法人日本自動車購入協会
代表理事
株式会社カーセブンディベロプメント
代表取締役社長
井上 貴之 氏

リビルド工業会全国連合会
会長
一般社団法人 日本自動車用品・部品
アフターマーケット振興会
専務理事
深澤 広司 氏

<モデレータ>
国際オートアフターマーケットEXPO 運営事務局長
株式会社ジェイシーレゾナンス　代表取締役社長
松永 博司

Bチャンネル

キャリブレーション

B-31 11:00〜12:30 Ⓒ

次世代自動車への対応技術
(電動パワートレーン・エーミング作業)について

電動パワートレーン対応技術とセンシングデバイスの機能調整(エーミング作業)の注意点および特定認証制度について、また、カメラ・ミリ波レーダー等の標準作業スペースの確認とインテリジェントクリアランスソナー搭載車の注意点について、展示車・プリウスを使用したデモ作業を実施しながらわかり易く解説して頂きます。

株式会社あいおいニッセイ同和
自動車研究所
研修部　整備技術グループ長
小島 一郎 氏

B-32 12:45〜13:30

MaxiSys ADASフルフレームによる キャリブレーション作業

AUTEL MaxiSysADASキャリブレーションフレームの最高峰モデル
キャリブレーションツールと独自のソフトウェアにより、板金修理、ガラス交換後のADASキャリブレーションに最適なツールの実演
ACC、LDW等キャリブレーションの際、ターゲットポジションをリアホイールクランプから導き出すため、正確にそしてスピィーディーに設置しキャリブレーションを行います。

有限会社G-STYLE
加藤 琴美 氏

Ⓒ このマークの付いている、B-11、B-21、B-31は同じ内容のセミナーです。

特設WEBサイト
3/17(水) OPEN!

セミナー聴講方法

- 特設サイト内のセミナーメニューから聴講希望のプログラムをクリックすることで、全て無料で聴講いただけます。
- 3月20日(土)〜3月23日(火)の間、アーカイブ配信を予定しております。

各セミナーとセミナーの間には、出展者のPR動画を配信いたしますのでぜひご覧ください。

Cチャンネル

出展者プレゼン

C-31 10:30〜11:15

中小企業のための はじめての海外展開 − 輸出

国内市場が成熟化し縮小する中、海外市場に目を向けようと思われている中小企業様は多いことと思います。「いままで海外へのぼんやりしたイメージはあるけど、どう動けば分からない!」、「我流で輸出にチャレンジしたがうまくいかない!」などのお悩みをお持ちではないでしょか。当セミナーは、海外販売・輸出に関して、初級〜中級レベルの中小企業様向けに企画されています。きっと、御社に適したヒントが得られると思います。

独立行政法人中小企業基盤整備機構
国際化支援アドバイザー
中小企業診断士
冨井　秀 氏

C-32 12:00〜12:45

勝手に売れる!仕組みで売る カービジネスセミナー

多くのカービジネス経営者が抱える「コスト削減」「人材不足」「売上拡大」「業務効率化」の解決策とは?
仕組化が出来れば?
・連絡忘れ等のミスが無くなる!
・スタッフの努力に頼らず売上を伸ばせる!
・スタッフを雇用育成する膨大な時間とコストも削減!
・優秀な営業マンが辞めてしまっても安定した売上を維持出来る!
・スタッフが収益率の高い仕事に集中できる!
ITツールを駆使した仕組化、さらに自動化の具体的事例をご紹介します。

一般社団法人日本優良自動車販売協会
LINX事務局
開発推進課長
田中 天馬 氏

C-33 13:30〜14:15

コロナ禍でも業績を上げた 自動車販売店が行っている 顧客体験向上のためのIT活用方法

ITを活用した接客で、顧客満足度を向上し、業績を上げているディーラーや整備会社があります。キーワードは自動化とチーム対応。オイル交換の入庫率を30%アップさせたSMSの送信シナリオとは?1日3時間の業務効率を達成した自動化顧客接客法とは?顧客対応のトラブルを激減し、顧客対応のスキルアップを達成した録音活用方法とは?自社でもできるクラウドITサービス「カイクラ」を活用した成功事例をお伝えします。

株式会社シンカ
代表取締役社長
江尻 高宏 氏

Dチャンネル

出展者プレゼン

D-31 10:10〜11:00
店舗改革

『満足度90%』の車検! 過去も未来も根幹は変わらない!

株式会社ホリデー
営業部 部長代理
西田 和人 氏

株式会社ホリデー
営業部 課長
児玉 武晴 氏

D-32 11:10〜12:00
SS店舗運営

洗車で稼ぐための 「ツール」と「ルール」

株式会社本荘興産
代表取締役社長
平井 新一 氏

D-33 12:10〜13:00
DX推進

コロナ禍において企業変革は急務
〜DXで実現する次世代整備工場〜

株式会社ブロードリーフ
DX推進コンサルティング部 部長
楠本 祥雅 氏

D-34 13:10〜14:00
Web集客/店舗改革

自動車流通の変化と 今後の展望

株式会社アイオーク
代表取締役社長
湯川　正 氏

D-35 14:10〜15:00
業界動向

特定整備制度と アフターコロナに向けて 整備事業者に今後求められること

株式会社日刊自動車新聞社
代表取締役社長
髙橋 賢治 氏

D-36 15:10〜16:00
ユーザー様事例

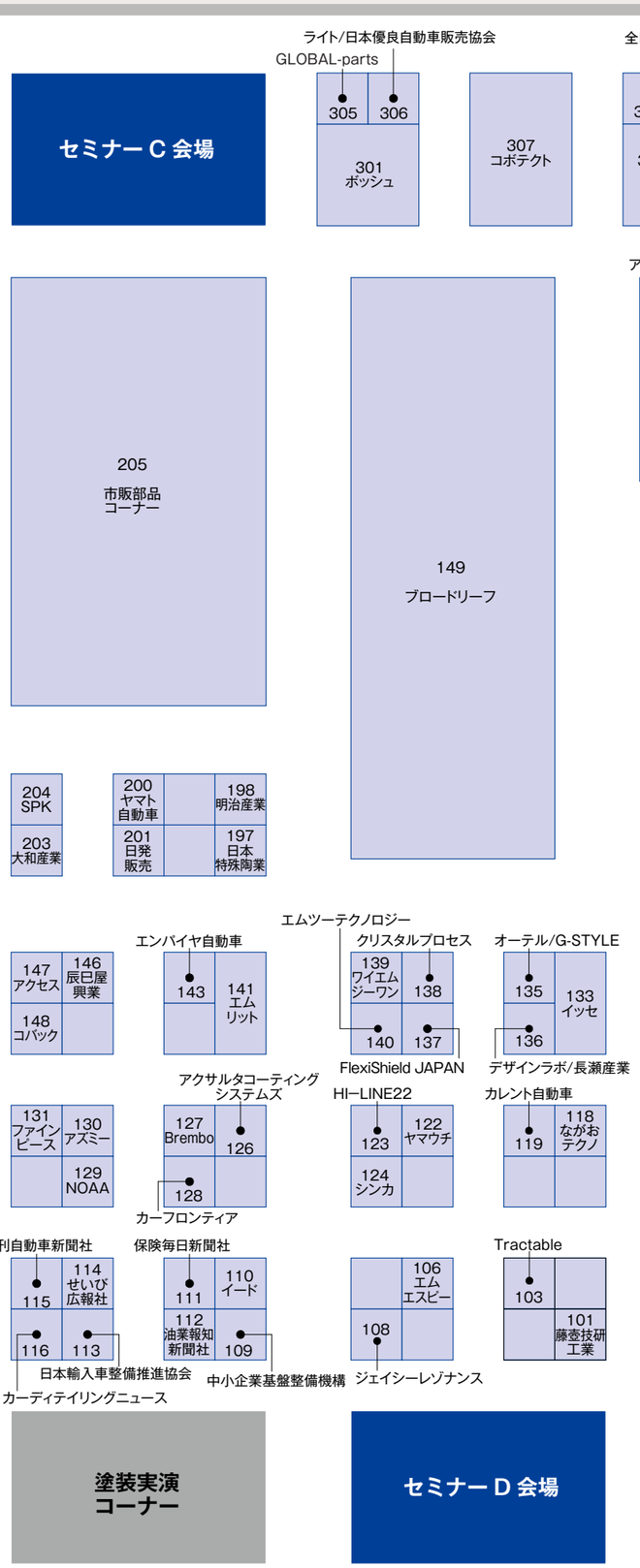
地域密着型のITシステムフル活用、 その本当の理由と具体策

株式会社グランベリーツー
代表取締役社長
石井 由行 氏

株式会社ブロードリーフ
本部営業課
鈴木 有輔 氏

※日時・タイトル・講師・内容等、都合により一部変更となる場合がございます。最新情報は公式WEBサイトをご確認ください。

バーチャルフロアMAP / 出展者一覧



ご注意

東京ビッグサイトでのブース展示は
一切ございません。来場登録の上
特設WEBサイト内にてご覧ください。

特設WEBサイト
3/17(水) OPEN!

International Auto Aftermarket EXPO 2021 ONLINE Vol.1

第18回 国際オートアフターマーケットEXPO2021 ONLINE Vol.1　出展者一覧

	小間番号	出展者名
あ	126/357	アクサルタコーティングシステムズ合同会社
	147	株式会社アクセス
	313	有限会社アスナル
	130	アズミー株式会社
	110	株式会社イード
	133	イッセ
	204	SPK株式会社
	106	株式会社エムエスピー
	140	エムツーテクノロジー合同会社
	141	株式会社エムリット
	143	エンバイヤ自動車株式会社
	135	オーテル / 有限会社 G-STYLE
	319	オーテル・インテリジェント・テクノロジー株式会社
か	116	カーディテイリングニュース
	128	株式会社カーフロンティア
	119	カレント自動車株式会社
	138	株式会社クリスタルプロセス
	317	Grippaz / 原田産業株式会社
	305	株式会社GLOBAL-parts
	148	株式会社コバック
	307	株式会社コボテクト
さ	124	株式会社シンカ
	205	**市販部品コーナー**
	あ	曙ブレーキ工業株式会社
		株式会社イチネンケミカルズ
		大野ゴム工業株式会社
	か	株式会社カトー
		京都機械工具株式会社
		古河薬品工業株式会社
	さ	三恵工業株式会社
		株式会社新生商会
		GMB株式会社
	た	株式会社デンソーワイパシステムズ
		東洋エレメント工業株式会社
	な	中村オートパーツ株式会社 タイヤ事業部
	は	バンドー化学株式会社
		PIAA株式会社
	ま	三ツ星ベルト株式会社
		株式会社宮田自動車商会
		武蔵オイルシール工業株式会社

	小間番号	出展者名
	108	株式会社ジェイシーレゾナンス
	114	株式会社せいび広報社
	315	全日本ロータス同友会
た	203	大和産業株式会社
	325	株式会社タジマ
	146	辰巳屋興業株式会社
	109	独立行政法人中小企業基盤整備機構
	316	株式会社ツールプラネット
	136	株式会社デザインラボ / 長瀬産業株式会社
	103	Tractable株式会社
な	118	株式会社ながおテクノ
	115	株式会社日刊自動車新聞社
	201	日発販売株式会社
	197	日本特殊陶業株式会社
	313	日本デントショップネットワーク
	113	一般社団法人日本輸入車整備推進協会
	129	株式会社NOAA
は	123	HI-LINE22株式会社
	357	**BSサミット事業協同組合**
	あ	アクゾノーベルコーティング株式会社
		株式会社EBE
		株式会社栄和製作所
	か	株式会社ケンテックス
	ま	株式会社Movi・USA
	131	ファインビース株式会社
	101	藤壺技研工業株式会社
	137	FlexiShield JAPAN
	127	Brembo
	149	株式会社ブロードリーフ
	111	株式会社保険毎日新聞社
	301	ボッシュ株式会社
ま	198	明治産業株式会社
や	122	株式会社ヤマウチ
	200	ヤマト自動車株式会社
	112	株式会社油業報知新聞社
ら	306	有限会社ライト / 一般社団法人日本優良自動車販売協会
わ	139	株式会社ワイエムジーワン

アクサルタコーティングシステムズ合同会社

小間番号 126 357

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8虎ノ門琴平タワー4F
Tel. 03-6891-0301　Fax. 03-6891-0326
URL http://www.axaltacs.com/jp/

アクサルタは、世界中に向けて、多種多様な高性能塗料や輸送用塗料を開発・製造・販売しています。世界的な大手製造メーカー（OEM）から中小企業まで、多様なお客様がいらっしゃいますが、どのお客様にも共通して、アクサルタの品質をお約束しています。　今年のIAAEでは昨年新発売しました水性クリヤークロマックスの「CC5000 WBパフォーマンスクリヤー」とスタンドックスの「プロフューチャーWBクリヤーK9100」の塗装を動画にてお見せいたしますので、是非ご覧いただけるようお願いします。

株式会社アクセス

小間番号 147

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島5-5-2
Tel. 06-6458-4401　Fax. 06-6458-4410
URL http://www.axes-s.com/ja/company/index.html

私共、株式会社アクセスは前身の1社 日新自動車株式会社が1921年に設立されて以降、日本のモータリゼーションの発展と共に歩み、皆さまのお陰を持ちまして今年で丁度100年にあたる節目を迎える事が出来ました。自動車分野を中核とするイチネングループ入りし、新たに生まれ変わったアクセスより皆さまにさまざまな価値ある商材の数々をご紹介させて戴きます。

有限会社アスナル

小間番号 313

〒211-0022 神奈川県川崎市中原区苅宿14-1
Tel. 044-431-0390　Fax. 044-431-0393
URL http://www.earthnoal.com

自動車産業は、100年に一度の変革期と言われオートアフターマーケットも変化を求められています。アスナルは、これからの時代に対応できる収益アイテムとして「インテリア リペアシステム」を提案します。

アズミー株式会社

小間番号 130

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-15-27 fabbit栄
Tel. 050-1744-0091
URL http://www.azmee.co.jp

「Embedded AI（組込型AI）」という新しい技術を使ったデバイスを研究開発しています。様々なセンサーと推論アルゴリズムが書き込まれたAIチップを小型のデバイスに一体化する技術です。低コストかつネットワーク不要で動くAI（認知、判断）で、数多くの応用が期待されています。安全AIカメラ（CMOSセンサー+Embedded AI）は、建設機械やトラック向けに最適化されたAIで周囲の作業員を監視し警告するシステムです。

株式会社イード

小間番号 110

〒164-0012 東京都中野区本町一丁目32番2号 ハーモニータワー17階
Tel. 03-5990-5332
URL https://www.iid.co.jp/

自動車用スマートロック「バーチャルキー」のデモンストレーションと、バーチャルキーを使ったカーシェア型レンタカーサービス「Patto」の紹介。新型社用車管理サービスの紹介。3月18日（木）12:30～ C-22（出展者プレゼンテーション）にて「Patto」を導入した事業者と開発者による、今後の可能性についてのディスカッションを行います。是非ご聴講ください。

イッセ

小間番号 133

〒134-0086 東京都江戸川区臨海町3-6-4ヒューリック葛西臨海ビル405
Tel. 03-5659-8840　Fax. 03-5659-8841
URL https://issechains.jp/

3代続く老舗の繊維メーカーから発展したスペイン・バルセロナのイッセ（ISSE Safety S.L.）社は、15年以上に渡り布製タイヤチェーンを開発・製造しています。イッセ・スノーソックスは、ヨーロッパ、アメリカでの成功を背景に2019年に日本上陸。大手インポーターのメーカーオプションに採用された他、ロードサービスの搭載ツールにも選ばれるなど品質と性能にこだわる日本のドライバーから幅広い支持を受けています。軽量でコンパクト、取り付けわずか3分。金属チェーンと同等、もしくはそれ以上のパフォーマンスを誇ります。

SPK株式会社

小間番号 204

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島5-5-4
Tel. 06-6454-2400　Fax. 06-6454-2490
URL http://www.spk.co.jp

補修部品の他、環境対応商材やトラックユーザー様向け商材など、幅広くご提案させて頂きます。BGジャパン（ディーゼル用ケミカル）・パシフィック工業（エアコンフィルター）・ザックジャパン（エアコン商材）・パナソニック（カーバッテリー）・武蔵ホルト（補修用ペイントシステム）・青木製作所（ドライブレコーダー）・パワーアップジャパン（環境商材）・ブリッド（トラック用シート）・イレブンインターナショナル（商用車用シートカバー）・エバスペヒャーミクニ（アイドリングストップ用エアコンシステム）・谷川油化興業（スーベリアLLC・ブレーキフルード）

株式会社エムエスピー

小間番号 106

〒165-0026 東京都中野区新井1-12-3
Tel. 03-3385-7117 Fax. 03-3385-3223
URL http://kmsp.jp

自動車指定整備工場様を中心にタブレット等を利用した車検帳票作成支援から適合証電子化、OSS申請まで一貫したシステムをご提供。7,000を超える事業者、事業所様にご採用頂いている確かな実績と信頼したシステムをご提案致します。

エムツーテクノロジー合同会社

小間番号 140

〒190-0022 東京都立川市錦町1-4-4 サニービル2F CS-92
Tel. 042-403-2464 Fax. 042-403-2464
URL https://www.mii-technology.com/

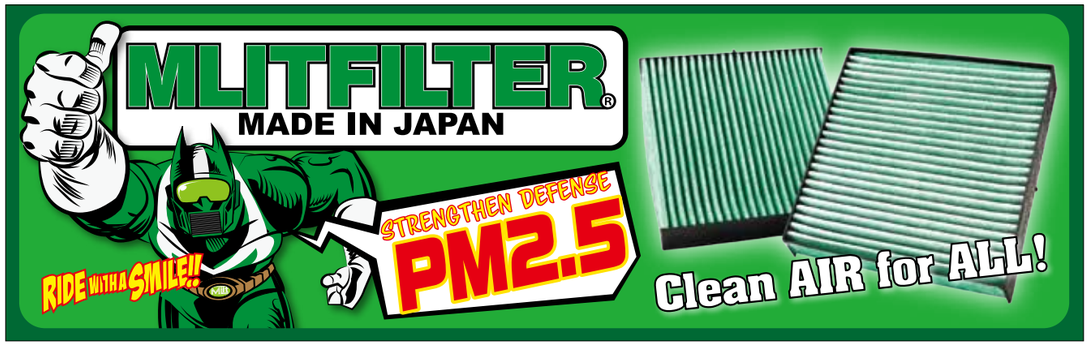
自動車ケミカルの開発から製造まで行っています。日本限定で進化型ガラスコーティング剤を開発致しました。今までの概念を覆すガラスコーティング剤です。詳しくはブースまで。

株式会社エムリット

小間番号 141

〒465-0005 愛知県名古屋市名東区香流2丁目809−1
Tel. 052-228-9542 Fax. 052-228-9543
URL http://www.mlitfilter.com

素材から加工まで、全て日本製品の純国産エアコンフィルター製造会社です。当社の製品は、日本国内のみならず海外13ヶ国へ出荷しております。国内ではリースカーメンテナンスを行っている日本全国の整備工場にて多く使用されています。フィルターは多層構造となっており、花粉やPM2.5といった粒子状物質を吸着するとともに、抗菌・防臭機能も有しており、PM2.5除去能力は一定の評価を頂いています。



エンパイヤ自動車株式会社

小間番号 143

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-23-1
Tel. 03-3555-6111 Fax. 03-3555-6115
URL http://www.empire.co.jp

エンパイヤ自動車株式会社は、補修用優良部品をはじめ各種自動車関連用品、機械工具の卸販売を行っております。当社ブースでは、プライベートブランド『テクノパワー』の各種ラインナップをはじめ、注目の部品・用品、工具類をご紹介いたします。特に除菌関連商材のピットサービスメニューや、ドライブレコーダー関連商品、急発進防止装置など「安心・安全」をテーマとした商品をご提案いたします。

オーテル / 有限会社G-STYLE

小間番号 135

〒270-1119 千葉県我孫子市南新木4-11-17
Tel. 04-7187-4405 Fax. 04-7187-4406
URL http://www.gstyle510.jp

OBD車検、特定整備に必要不可欠な整備機器としてスキャンツール(自動車診断機)・AUTEL MaxiSysシリーズ、ADASキャリブレーションツール(エーミングツール)・MaxiSys ADAS及びMA600、バッテリーチャージャー(安定電圧機)・GYS FLASHの製品をご案内。MaxiSysで診断、ADASキャリブレーションを行う際や、ECU等プログラミング時に電圧降下により作業が先に進まなくなることを防ぐツールとしてGYSは需要は増加傾向にあります。またヘッドランプの黄ばみによる光量低下で車検不適合になった車両に施工できるHLSC（ヘッドランプスチームコート）もご案内致します。

あ

オーテル・インテリジェント・テクノロジー株式会社

小間番号 319

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目7番18号 719室
Tel. 045-594-8465 Fax. 045-345-8589
URL https://www.autel.com/jp/

Autelは、自動車整備業界の最先端を走るグローバルカンパニーであり、自動車整備に不可欠な故障診断機、エーミングツールなど製品は、世界トップクラスのシェアを占めています。世界中のユーザー様に最大の、長期的な価値を創造することに尽力してきました。自動運転車時代への整備対応により、私たちは研究開発と製造能力を最大化することで、高度な自動運転校正技術と自動車故障診断のレベルを高め、次世代整備業界標準をリードして、高度な自動運転技術校正と自動車インテリジェント診断技術の継続的な革新と開発に取り組んでいます。次世代整備に対し、今も未来もAUTEL がサポートします。

か

カーディテイリングニュース

小間番号 116

〒104-0045 東京都中央区築地3-3-2 NEWS築地9F
Tel. 03-5565-1642 Fax. 03-5565-6909
URL https://detailing-news.jimdofree.com/

1996年創刊のカーディテイリング業界専門紙（偶数月25日発行）です。従来からのボディコーティングやカーフィルム、車内クリーニングにとどまらず、デントリペアやガラスリペア、近年盛り上がりを見せるラッピングやペイントプロテクションフィルムなど、多岐にわたって“美装ビジネス”をウォッチしています。すでにビジネスに取り組んでいる専業者様も、これから事業化を模索する異業種企業様も、業界の現状と展望を探るツールとしてお役立てください。情報を広く発信したい企業様の情報提供も随時お待ちしております！

株式会社カーフロンティア

小間番号 128

〒100-0004 千代田区大手町1-1-3 大手センタービル13F
Tel. 0120-745-022 Fax. 03-4362-4465
URL https://car-frontier.com

カーメンテナンス事業者の皆さまの「店舗運営効率化」をサポートする2サービス、カーメンテナンスWEB予約サービス「timy（タイミー）」、業務用カーケア用品仕入れショッピングサイト「AnotherRoot（アナザールート）」のご紹介です。圧倒的なコストパフォーマンスとサポートで、事業の新世代対応を支援します。

カレント自動車株式会社

小間番号 119

〒225-0011 神奈川県横浜市青葉区あざみ野1-4-3 三橋ビル3F
Tel. 045-479-9957 Fax. 045-479-9958
URL https://www.currentmotor.co.jp/

当社では輸入車専門で整備工場様へ部品販売しております。取扱いは全輸入車で国内だけでなく、海外の仕入ルートを駆使して生産終了部品や入手困難部品、国内では出回っていない優良品などプラスアルファの部品を提供しております。輸入車部品でお困りの際はぜひともお問い合わせくださいませ。

株式会社クリスタルプロセス

小間番号 138

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-10-18
Tel. 082-493-7700 Fax. 082-493-7701
URL http://crystalprocess.co.jp

最先端技術を駆使し有機合成・無機合成化学を用いた表面被膜の研究および商品化に取り組んでおります。高度な研究と優れた商品の開発を目指し、国・県・大学・民間の研究機関が集積した広島中央サイエンスパークにて、今まで培ってきた柔軟な独自の発想に加え、各研究機関のご協力を得ながら日本国内はもとより世界各地に高機能、高品質な表面被膜剤を提供していきたいと考えております。

か

Grippaz / 原田産業株式会社

小間番号 317

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビル新館5F
Tel. 03-3213-8295　Fax. 03-3213-8399
URL http://www.haradacorp.co.jp

■出展アイテム
Ｇｒｉｐｐａｚ　ニトリル手袋　　潤滑油材に対する強い耐久性と、特許取得のウロコ状テキスチャードによる優れたフィット感やグリップ性を兼ね備えた作業用ニトリル手袋を出展いたします。より安全で作業効率の向上につながる製品をご紹介いたします。

株式会社GLOBAL-parts

小間番号 305

〒567-0865 大阪府茨木市横江1-17-6
Tel. 03-6869-2037　Fax. 03-5539-4856
URL http://www.gparts.jp

私たちGLOBAL-partsは全国のディーラー様をはじめ企業様が進めておられますコーポレートサステナビリティをサポートさせていただいてます。全国ネットワークです、是非ご利用ください。

株式会社コバック

小間番号 148

〒471-0064 愛知県豊田市梅坪町10-5-3
Tel. 0565-32-0589　Fax. 0565-36-1975
URL https://www.kobac.co.jp/

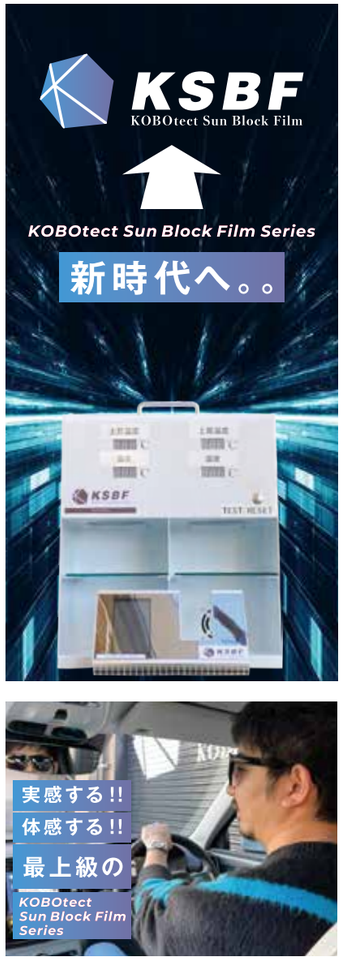
日本最大の車検ネットワークから生まれた車検拡大～生涯顧客システムをリリース！車を1台も売らずに1店舗で月間1,000台、年間8,000台以上の車検生産を実現！ 多店舗化で直営11指定工場を展開している高生産、高収益化など様々な実務ノウハウ凝縮！ クラウド型コンピュータで、お客様のスマホアプリとリアルタイムで連携可能！ 整備履歴確認や入庫促進の自動プッシュ通知、更にお客様が店舗空き状況を確認しアプリで予約完結でき受付人員の工数削減、DMコスト、コールセンターの削減が可能！本システムはフランチャイズでなく、コバック加盟店エリア外で新しいカーテックネットワークとして募集スタートしました。

株式会社コボテクト

小間番号 307

〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町290-1
Tel. 045-507-7997　Fax. 045-507-7791
URL https://kobotect.jp/

まず、大切なことは！！safe secure & stable（安心・安全・安定）をユーザー様にご提供するべく商品の開発に邁進すること。なぜなら、人類の進歩、進化の過程において出た産物が、地球の温暖化や大気汚染など様々な問題が挙げられる中、現代社会において近代化が進み、デジタル化が当たり前になった昨今。我々人類に出来る事は、人々それぞれが考え・行動する事と感じております。当社のSun Blok Filmは、単に日差しをカットするだけでなく、日焼けによる皮膚への影響・脱水症、そのストレスへの対策も鑑みた、体感度のあるSun Blok Filmとなっております。ユーザー様の人生の1ページに是非！



T.KOBORI 小堀 琢矢

1994年 大阪市生まれ
2009年にRestaurant Industryに従事する。
その後、2016年同店の統括責任者（マネージャー）に昇格。
長年の修行を経て、2018年独立。
第1号店を"ハッシュタグ"と命名、梅田に本店を置く。
その後、2021年までに全９店舗を展開。
異業種からの目線（ユーザー目線主義）を武器にフィルム業界に2021年参入。

INSTAGRAM　WEB

さ

株式会社シンカ

小間番号 124

〒163-0237 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル37F
Tel. 03-6721-0415　Fax. 03-6721-0416
URL https://www.thinca.co.jp/

着信と同時に基幹システムに登録済の顧客情報をPCやスマホ、タブレットに表示させ、顧客に応じた電話対応を可能にするサービスを紹介します。顧客情報を確認する手間が省け、過去のやり取りもメモ機能で共有。誰が電話に出ても同じ対応が可能。顧客満足度向上や顧客単価UPへの貢献により、1,600社2,600拠点以上で導入いただいています。顧客満足度37%向上、入庫率300%UP、商談数増加等の具体的事例を含めたご紹介をさせていただきます。

曙ブレーキ工業株式会社

小間番号 205

〒348-8508 埼玉県羽生市東5-4-71
Tel. 048-560-1514 Fax. 048-560-2896
URL http://www.akebono-brake.com

弊社は1929年の創業以来、ブレーキの専業メーカーとして、自動車、二輪車、新幹線を含む鉄道車両、産業機械など幅広い分野のブレーキの製造を続けてきました。アフターマーケットビジネスにおいては、全国主要都市にある営業拠点を中心として「お客様第一」をモットーに真摯に活動を展開しています。そして、これからも私たちはブレーキを通じて世界中の皆様に「安全・安心」を提供するために全力で走り続けていきます！今回、3月18日の出展者プレゼンテーションに参加させていただくことになりました。弊社のアフターマーケットビジネスへの取組みや商品ラインナップの説明を予定しておりますので、皆さまの聴講をお待ちしています。

株式会社イチネンケミカルズ

小間番号 205

〒108-0023 東京都港区芝浦4-2-8 住友不動産三田ツインビル東館8階
Tel. 03-6414-5608 Fax. 03-6414-5628
URL https://www.ichinen-chem.co.jp

当社は、ロングセラーである「クリンビュー」をはじめとした安全・安心製品を皆様にお届けしております。この度の「第18回国際オートアフターマーケットEXPO2021」では、自動車下回りの防錆剤シリーズ【塩害ガード】をご提案させて頂きます。種類が大変に豊富で、皆様のご要望に応じたご提案が可能となっております。強力な防錆性能はもちろん、作業性にもこだわっており、大型車両への塗装などに最適なツールである「塩害ガードベインターM」もご用意しております。ユーザー様、施行業者様をはじめ皆様に自信を持ってお薦めできる内容となっております。他にも様々なケミカル製品を取り扱っておりますので、お気軽にご相談下さい。

大野ゴム工業株式会社

小間番号 205

〒120-8571 東京都足立区綾瀬2-2-50
Tel. 03-3690-5825 Fax. 03-3602-2224
URL http://www.ohno5825.co.jp

大野ゴム工業株式会社は1941年の創業以来、自動車部品・工業用ゴム製品を製造・販売して参りました。お陰様で2021年に創業80周年を迎えました。100年企業を目指すべく既成概念にとらわれず、ゴムに留まらない様々な製品を手掛け、お客様のニーズを的確に捉えた最適なソリューションを提案し続けて参ります。また、製造・技術・営業部門が連携し、お客様に迅速且つ柔軟な対応を心掛け、信頼される品質を提供し社会に最良の貢献を致します。

株式会社カトー

小間番号 205

〒321-0162 栃木県宇都宮市大和2-1-1
Tel. 028-658-1234 Fax. 028-658-2898
URL https://www.kk-kato.biz

株式会社カトーは、栃木県を中心とした北関東エリアに根ざして、自動車関連の部品や工具の供給、作業のアウトソーシング、各種事業支援などを手がけてきた、技術と情報の総合商社です。お客様であるクルマのプロたちのニーズに応え、課題を解決するアイデアやノウハウも、私たちの重要な商品と捉えそれを形にしたのがカトーケミカルシリーズです。長年現場と向き合ってきた経験を基に、現場に求められる使いやすさと仕上がりの良さを求めたカーケア商品のご提供を行っております。カービジネスの根幹を担い、豊かな地域をつくる。カトーの仕事に、どうぞご期待ください。

京都機械工具株式会社

小間番号 205

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番
Tel. 0774-46-3700 Fax. 0774-46-3734
URL https://ktc.jp/

「9.5sq. コードレスラチェットレンチセット」JTRE310は、バッテリーを内蔵することで同クラス最小、最軽量（※2020年12月現在　当社調べ）を実現した電動ラチェットレンチ。コードレスのためエアホースや電源コードの取り回しに気を使う必要がなくストレスフリーで作業できます。「ハブキャップインサーター」AS331はハブキャップ圧入作業が安全確実に行える専用工具。「12.7sq. ホイールナット専用コードレストルクリミットインパクトレンチセット」（JTAE473）は2段階の仮締めモードを搭載。最適な仮締めトルクでトルクレンチ使用時の振り角が小さく、本締め作業が効率化できます。

古河薬品工業株式会社

小間番号 205

〒349-1203 埼玉県加須市柏戸740
Tel. 0280-62-1011 Fax. 0280-62-0650
URL https://www.kykk.jp

古河薬品工業は自動車ケミカル製品の製造業として、50年を超える長年の経験と実績の中から製品造りにおける様々なノウハウを蓄積してまいりました。製品の企画、研究、開発から製造、品質管理、配送までを自社で一元管理しているからこそ可能な、各生産体制での厳しいチェックはもちろんのこと、「信頼される製品造り」を目指しての技術、製造、管理部門が一体となっての協力体制を実現しております。その実績が各方面から高い支持と評価を頂き、自社ブランド製品だけでなく多くのOEM・PB製品を提供しております。

三恵工業株式会社

小間番号 205

〒520-3045 滋賀県栗東市高野305
Tel. 077-553-0555 Fax. 077-553-2408
URL http://www.sankei-555.co.jp/jp/

三恵工業は1960年の創業以来、自動車用のステアリング&サスペンション等の補修用の部品を製造・販売しているメーカーです。自社製品555(スリーファイブ)ブランドは高品質のMADE IN JAPANが好評で、国内はじめ世界120ヵ国以上に展開・販売しています。あらゆるメーカーの車種、年式に応じて提供できるよう、多彩なアイテムの品揃えで、小ロットのニーズにも柔軟に対応しております。

株式会社新生商会

小間番号 205

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-19-13
Tel. 03-3433-1445　Fax. 03-3433-3408
URL http://www.spirit.co.jp/index.html

輸入車、国産車部品の取り扱い、特に欧州車部品の在庫量には秀でています。部品商様への迅速な供給をモットーに車検パーツは勿論、機能部品から外装パーツまで、ニーズにいち早くお応えできる品揃えが自慢です。

GMB株式会社

小間番号 205

〒636-0295 奈良県磯城郡川西町吐田150-3
Tel. 0745-44-1913　Fax. 0745-44-0889
URL https://www.gmb.jp

独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を新車組付け及び修理用部品の両市場に向けグローバルに製造販売。主要な取扱製品は駆動伝達および操縦装置部品としてユニバーサルジョイント、サスペンションパーツ。エンジン部品としてウォーターポンプ、ファンクラッチ等及びベアリング部品としてテンショナーベアリングやハブベアリング。今回新たにストラットマウント及びストラットベアリングも販売開始し左右キットでも展開。お客様の幅広いニーズに自信を持ってお応え致します。

株式会社デンソーワイパシステムズ

小間番号 205

〒347-8585 埼玉県加須市下高柳311番地
Tel. 03-4346-0170　Fax. 0480-67-1106
URL https://www.nwb.co.jp/

一昨年デンソー100%の子会社となり、株式会社デンソーワイパシステムズと社名が変更となりました。「NWB」はブランドとして取り扱いを継続いたしますので今後とも宜しくお願い致します。自動車業界はCASEにおける技術革新が進んでおり、視界安全領域では自動運転に伴い、カメラ、センサーを含めた技術開発が進み、ワイパーシステムにおいても変化に対応した商品提供が求められています。自動ブレーキにつきましては義務化傾向で、カメラシステム装着車も増加しており、システムのエラーを無くすために高性能なワイパーが必要となってきております。それらの交換必要性について情報伝達を強化し安心・安全をキーワードに取り組みます。

東洋エレメント工業株式会社

小間番号 205

〒216-0015 神奈川県川崎市宮前区菅生1-8-18
Tel. 044-978-2751　Fax. 044-979-1278
URL http://www.toyoelement.co.jp

弊社は自動車用・産業機械用フィルタの専業メーカーです。国内自動車メーカーのフィルタにおいては、軽自動車から大型車にいたるまで豊富な品揃えでお応えしております。◆PM2. 5対応キャビンフィルタ（カーエアコンフィルタ）「エアクリィーズ」では、多機能タイプ「エアクリィーズplus」、除塵タイプ「エアクリィーズfine」に加え、2020年6月に「確かな品質をシンプル価格で選び易く!」をコンセプトにした「エアクリィーズ　ユニサード」を発売いたしました。◆これからも「Made in Japan」で、従業員一丸となり、お客様に貢献してまいります。

中村オートパーツ株式会社 タイヤ事業部

小間番号 205

〒177-0032 東京都練馬区谷原1-22-2
Tel. 03-3904-8141　Fax. 03-3904-8143
URL http://www.luccini-japan.com/

ルッチーニタイヤ日本国内総代理店。低燃費タイヤからロープロタイヤ、SUVタイヤ、スタッドレス／オールシーズンタイヤなど豊富な製品ラインナップで、販売店・ユーザーに幅広くご提案が可能な商品となっております。高品質でコストパフォーマンスの高い製品をぜひご体感下さい!

バンドー化学株式会社

小間番号 205

〒104-0031 東京都中央区京橋2-13-10
Tel. 03-6369-2104　Fax. 03-6369-2105
URL https://www.bandogrp.com

バンドー化学は創業114年のベルトメーカーであり、自動車、一般産業の各種メーカー様に多くのご採用を頂いております。今回の展示会では自動車優良部品の新製品のご紹介をさせて頂きます。

PIAA株式会社

小間番号 205

〒112-0005 東京都文京区水道1-12-15
Tel. 03-6891-3354　Fax. 03-6899-2938
URL http://www.piaa.co.jp

PIAAは高品質なライティング、ワイパー、フィルター、ルーフキャリアなどでおなじみですが、仏ヴァレオ社の日本拠点として、補修部品や純正品などを取り扱っています。今回ご案内するトラック、バス用の世界初のボールタイプTPMS（タイヤ空気圧モニタリングシステム）の販売代理店です。ボールセンサーをタイヤ内に投げ込むだけの簡単作業で、各タイヤの空気圧、温度を監視、バンクや火災を未然に防げる商品です。

三ツ星ベルト株式会社

小間番号 205

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4
Tel. 03-5202-2503 Fax. 03-5203-2523
URL https://www.mitsuboshi.com/japan/

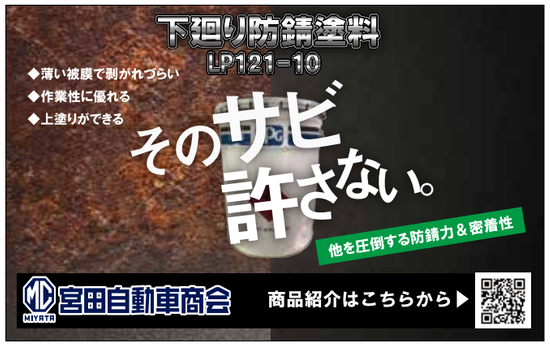
当社は、「高機能、高精密、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」を経営基本方針に掲げ、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、人々の生活と産業の発展を支える製品を社会に提供してまいります。今回は、ファンベルトをメインに関連商品を展示しております。予防整備をすることで、突然のトラブルが防止され、安心・安全なカーライフを送る事ができます。

株式会社宮田自動車商会

小間番号 205

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東11丁目22
Tel. 011-261-3451 Fax. 011-242-1241
URL https://www.mcmiyata.co.jp/

初めまして、宮田自動車商会です。北海道で自動車部品商をしています。創業は大正10年で、2021年5月に100周年を迎えます。お陰様で、1世紀に亘りクルマに係る商売をさせていただいております。昨今、車が変化していく中で、お客様のお困り事を解決するためのテクニカルセンターを2015年に開設しました。110平米のエーミング専用作業場の他、ジグ式フレーム修正機、3次元計測器、四輪アライメントテスターを設置し、安全安心なカーライフの実現に貢献しています。今回のIAAEでは、北海道や沖縄のみならず、塩害による自動車の錆で困っているすべての人に対し、その悩みを解消できる評判の防錆塗料のご紹介をいたします。



武蔵オイルシール工業株式会社

小間番号 205

〒106-0032 東京都港区六本木5-11-29
Tel. 03-3404-6342 Fax. 03-3405-7465
URL http://www.musashi-os.co.jp

国内主要自動車メーカー全車種に対応した品揃えの充実や迅速・確実な供給体制を整えています。国内はもとより海外90ヵ国の補修市場にも供給し、世界一の日本自動車補修用オイルシールメーカーを目指しております。

さ

株式会社ジェイシーレゾナンス

小間番号 108

〒104-0045 東京都中央区築地3-3-2 NEWS築地9F
Tel. 03-5565-1642 Fax. 03-5656-6909
URL https://www.jc-resonance.co.jp/

IAAEの運営事務局を務めているジェイシーレゾナンスは、イベントの企画・運営のほか、販促に関するツール（WEB、パンフレット等）製作他、展示会のブース装飾なども承っております。またオートアフターマーケット業界の活性化に向けてメディア事業やネットワーク事業にも携わっています。中でも、自動車関連事業者の地域連携促進、進化した車両に対応した技術の習得や最新のビジネス情報を入手することができる「ARCネットワーク」のサービスを4月より開始する予定です。3月18日（木）10:30～A-21のセミナーの中でも紹介予定ですので、ご興味のある方はご聴講ください。

株式会社せいび広報社

小間番号 114

〒144-0051 東京都大田区西蒲田6-36-11 西蒲田NSビル5F
Tel. 03-5713-7603 Fax. 03-5713-7607
URL https://www.seibikohosya.com/

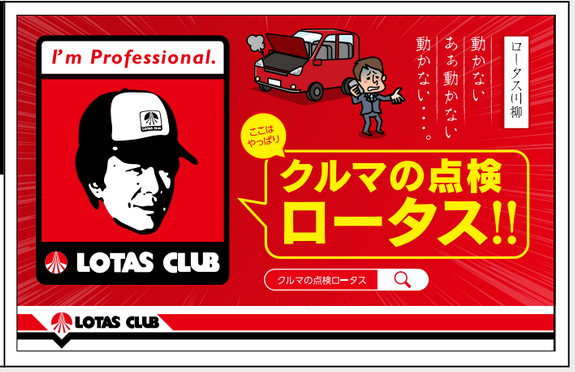
自動車整備業界向けの情報誌（フリーペーパー）「せいび界」と各種単行本を発行しております。直近では、今や話題の中心とも言うべき特定整備の基礎知識を分かりやすくまとめた「そこが知りたい特定整備Q&A」が好評発売中です。他には30年以上多くの方にご愛読いただいております、自動車にまつわる各種統計をまとめた「経営戦略データ」の最新版（5月31日発行予定）の予約を受付中です。

全日本ロータス同友会

小間番号 315

〒105-0014 東京都港区芝2-3-3 芝二丁目大門ビル6F
Tel. 03-3457-1241 Fax. 03-3457-1246
URL https://www.lotascard.jp/

全国約1600社、2000店舗以上のネットワークによる自動車整備企業集団です。「クルマの点検はロータス」推進活動を展開中であり、お客様に安心・安全なカーライフを提供するべく活動をしております。



た

大和産業株式会社

小間番号 203

〒108-0075 東京都港区港南3-8-1森永乳業港南ビル8階
Tel. 03-6433-0601 Fax. 03-6433-0687
URL https://www.daiwa-sangyo.co.jp/

手間なく質の高い仕上がりのマスキングテープ「CHICANE TAPE」、ワンランク上の室内空間を演出する「車載用照明」、技術と安全をサポートする「ワイヤレスフォークリフトモニターカメラ」。自動車部品の専門商社である当社が、自信をもっておすすめする新商品を紹介しております。ご来場、心よりお待ちしております。

辰巳屋興業株式会社

小間番号 146

〒466-8711 愛知県名古屋市昭和区白金3-20-15
Tel. 052-882-8504 Fax. 052-882-8506
URL https://www.tmy-net.co.jp

アフターマーケット向けの各種部品用品商材を国内外市場へ供給しております。特定整備向け商材、エアサス優良品、安全安心商材、ドレスアップの最新トレンドなどをご紹介。旬で元気のある商品をご提案致します！！

た

株式会社タジマ

小間番号 325

〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ6F
Tel. 03-5919-0915 Fax. 03-6433-3567
URL https://www.tjk.co.jp/

ブロードリーフグループの一員となったタジマは開発テクノロジーや強力なデーターベース、商品ラインナップ、マーケティングノウハウを共有するなどグループシナジーを最大限に活用しながらこれまでタジマが培ってきたサポート力や営業力と融合してよりよい商品のご提供やサービス向上に努めて参ります。私どもの主力商品である「一新多助シリーズ」は、お客様に寄り添った商品をご利用頂けるようまた、皆様にとって「経営の多くを助ける」存在となれるよう全力でサポートいたします。また、今後大きな変化が予想される自動車業界においても弊社スタッフが、お客様と密にコミュニケーションをとりながらフォローさせて頂きます。

クルマのみらい、まっすぐサポート。 Tajima 株式会社タジマ

展示商品紹介

自動車整備業界向けシステム

「顧客・車両などのユーザー情報をしっかり管理したい」
「消耗部品関連の販売促進を強化したい」など、お客様の抱えている課題や要望をヒアリングし、事業環境に合ったシステムのご提案をさせていただきます。

基本機能

顧客・車両管理や売掛・入金管理のほかに各種集計、販促機能も搭載。スマートマルチウインドウには知りたい情報や履歴が自動表示されていつでもすぐに確認できます。
さらにオンラインでの自動アップデートで常に最新状態。

整備システム

見積書・指示書・納品請求書などの伝票発行が可能です。作成された請求書の内容は整備履歴として車両管理画面でも確認ができます。また、サイクル管理※1や後追い整備※1などの販促活動へつなげることもできます

車販システム

見積書・注文書などの伝票発行が可能です。
在庫車登録で販売車輌の管理や、登録データを引用してすぐに見積作成ができます。また、売買契約書※1や古物台帳※1の作成も可能です。

鈑金システム（連携）※2

業界一のデータ量をもつ「BK.NS2」と連携しました！
鈑金部品価格や自検センター指数はもちろん、ボデー寸法図や新素材データも搭載し常に最新のデータでご利用いただけます。

NEW 整備部品価格データ

オプションの「整備部品価格」が業界トップクラスのデータベースを持つ
ブロードリーフ社製のデータに変わります！
見積作成時に使用部品を入力するだけで部品価格が自動表示され、
見積即伝が可能となるため、お客様をお待たせしません！

※整備部品価格®はブロードリーフ社の製品となります。※スパルを除く、小型車８メーカー表示となります。
※型式指定番号・類別区分番号がない場合は部品価格が表示されません※ご利用にはインターネット環境が必要となります

※1　一新多助スマートプラス２の専用機能となります。　※2　BK.NS2for 一新多助をご利用頂くにはインターネット環境が必要となります。

BroadLeafGroup　一新多助　検索

クルマのみらい、まっすぐサポート。 Tajima 株式会社タジマ

次世代業務に対する対応

特定整備

ブロードリーフグループとなり４年目、昨年はオンライン化を推進し顧客の80% をオンライン化の実現となっております。今後プログラムやデータ更新をリアルタイムで行える事が可能となりユーザー向けサービス向上やサポート向上につなげていく事が出来ます。
特定整備をはじめ整備業界の電子化の波が止まる事はありません。先進安全運転支援システム (ADAS) 搭載車のエーミング作業の必要性が高まる中で、エビデンスも求められる時代になります。
私たちタジマはシステム面、サポート面でフォローできる体制を万全にしていきますので、是非とも新しく進化したスマート２シリーズをご覧ください。

TRASASシリーズ

KTC 社は経験や勘に頼っていた曖昧な作業から脱却、安全、快適、能率・効率的な作業を実現するために『TRASAS(トレサス) シリーズ』を開発しました。
タジマの一新多助スマートシリーズは最新のセンシング技術を取り込んだ『TRASAE(トレサス) シリーズ』との一新多助連携を実現し、タイヤデプスゲージ、ブレーキパッドゲージにて正確な『数字記録・管理・反映』をすることが可能となります。その『TRASAS シリーズ連携オプション』にトルクルを追加。トルクルの機能は測定値の結果表示や測定履歴を残す事により複数人でタイヤ締め付け確認する手間が無く高精度の測定はもちろん、データ管理などの作業効率を上げる事ができます。また専用帳票に計測した足回り情報が掲載されるのでお客様の信頼を高める事もできます。是非とも一新多助連携オプションの『TRASAS(トレサス) シリーズ連携』をご覧ください。

お取り扱いシステムラインナップ

エントリーモデル

開業間近の方

一新多助 smart2

- 自動車整備システム
- 自動車車輌販売システム
- 自動車鈑金システム（BK.NS for 一新多助）

使いやすさを追求したシンプルな操作性と顧客・車両管理、伝票発行、販促機能（車検、点検）、集計と基本機能を取り揃えたエントリーモデル！

ミドルレンジモデル

認証から指定工場

一新多助 smart+2

- 自動車整備システム
- 自動車車輌販売システム
- 自動車鈑金システム（BK.NS for 一新多助）

エントリーモデルに追加してサイクル管理、後追い整備案内、分析機能、会計連動等を搭載した幅広い業務に対応可能なモデル！申請書オプション２、会計ソフト連携など、各種オプションを豊富に取り揃えております。

ハイエンドモデル

トータルショップ

車検・点検支援システム
スーパー検査員.NS3
SF.NS3 Ai
CS.NS3
BK.NS3

※.ＮＳシリーズ ® はブロードリーフ社の製品です。

全商品オンライン対応！（データメンテナンス、法改正、税改正は随時更新対応致します。）

※.ＮＳ２シリーズもお取り扱い出来ます。

BroadLeafGroup　一新多助　検索

た

独立行政法人中小企業基盤整備機構

小間番号 109

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
Tel. 03-5470-1522 Fax. 03-5470-1527
URL https://www.smrj.go.jp

海外ビジネスでお悩みの中小企業の皆様に朗報です！国際オートアフターマーケットEXPO 2021では、海外でのビジネス展開を目指す中小企業の皆様の疑問にお答えする、海外展開相談コーナーを設置いたします。（ご相談は無料です。）「海外に売ってみたいけど、方法が分からない…。」「どこの国に進出したらいいだろう…。」そんなお悩みをお持ちの皆様は、是非ともお気軽にお立ち寄りください。海外ビジネスの経験豊富な専門家が、お話をお伺いいたします。

株式会社ツールプラネット

小間番号 316

〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ケ池町43-2
Tel. 058-246-1733 Fax. 058-246-1736
URL http://www.toolplanet.jp/

株式会社ツールプラネットはスキャンツールメーカーとして国内生産にこだわりハードウェア、ソフトウェア共に自社開発にて製造を行っています。オートアフターマーケット2021では好評発売中の特定整備認証ツールTPM-5並びに新型タブレットタイプNANO-BT等をご案内致します。また、OBDに関わるご案件等ございましたら是非とも弊社までご一報ください。弊社モノづくりの原点は[現場では何が必要なのか][適正価格で提供する]この二つで今後も求められる役割を追及し続けて参ります。

株式会社デザインラボ

小間番号 136

〒501-6023 岐阜県各務原市川島小網町2146-42
Tel. 0586-89-4341 Fax. 0586-89-4547
URL http://www.ppfshop.net

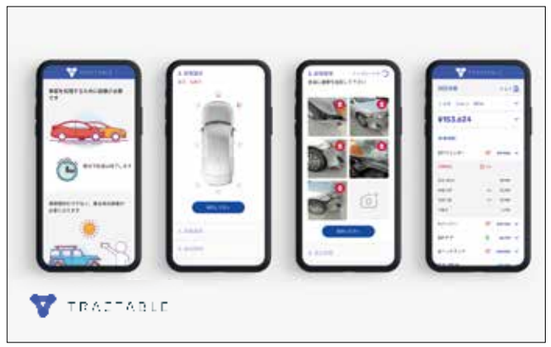
カーラッピング、プロテクションフィルム施工に使える道具、フィルム資材が揃う！高品質ペイントプロテクションフィルム「ルーマーペイントプロテクションフィルム」、フロントウインドプロテクション「ClearPlex」日本正規取扱店！プロ御用達のオンラインショップです！気になるツールの使用方法も動画でご紹介します。SHOPではIAAE2021の開催を記念しまして、オリジナルPPF「LL Racing Protection」を数量限定で特価大放出します！カーラッピング、プロテクションフィルムの施工技術講習会も受け付けしております。ご相談、ご質問などございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
【共同出展者】長瀬産業株式会社

Tractable株式会社

小間番号 103

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5 9F
Tel. 080-3503-8052
URL http://tracrable.ai

ロンドン発のAIスタートアップで、自動車の損害査定業務を自動化するAIソリューションを開発しております。ディープラーニング技術と数億枚の学習データにより、あらゆる車種、あらゆる撮影環境の画像から、部品ごとの「損傷有無」「交換要否」「工数」等を特定することが可能です。また、損害車だけでなく、中古車の傷やへこみの有無を、画像のみから特定するソリューションも現在開発しております。オートアフターマーケットの幅広い企業様と意見交換させて頂けると幸いです。



な

株式会社ながおテクノ

小間番号 118

〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町1-6-51
Tel. 06-6415-7120 Fax. 06-6481-5955
URL http://www.nagaotechno.co.jp/

"リビルト部品の可能性を追求し、オンリーワンの企業を目指す" 創業より一貫してリビルト部品の拡充に努め、昨年2020年には尿素SCRシステムのリビルト製品化に取組み、ドージングモジュール、アドブルーポンプ、SCR フィルターなどの提供を開始致しました。地球環境への意識の高まりと共に、HV バッテリーの商品化にも挑戦、高品質：低価額で「優しい環境」を創るお手伝いに取組しています。「何処を探してもない」そんなお客様の声に応えて少しでもお役に立てるよう日々研究し、努力致します。

株式会社日刊自動車新聞社

小間番号 115

〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-11 芝大門センタービル3F
Tel. 03-5777-2623 Fax. 03-5777-2358
URL https://www.netdenjd.com/

日刊自動車新聞は、日々の自動車業界の動向を正確にとらえ、分かりやすく読者の皆様へ情報をお届けする日刊専門紙です。また、日刊自動車新聞電子版では、ウェブ限定記事なども好評を博しています。そのほかにも自動車整備業界向け月刊誌「整備戦略」など、さまざまな書籍、本紙執筆陣や業界人による単行本も随時発行しております。ビジネスチャンスに是非ご活用ください。

日発販売株式会社

小間番号 201

〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1 NBFコモディオ汐留8階
Tel. 03-6854-1607 Fax. 03-6841-2801
URL https://www.nippan-inc.co.jp

日発販売株式会社はニッパツグループ唯一の商社として、世界でも知られる「NHK」ブランドの高品質ばねを始めとして、自動車補修市場向けに幅広い商品をラインナップしております。またサスペンション機構の変化に伴い、エアスプリング優良品の開発と定期交換の啓蒙にもいち早く取り組んで参りました。自動車のメンテナンスに必要な部品・用品を、市場ニーズに合わせて厳選し、全国のネットワークを活かして迅速にご提供いたします。

日本特殊陶業株式会社

小間番号 197

〒467-8525 愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14-18
Tel. 052-872-5934 Fax. 052-872-9997
URL https://www.ngkntk.co.jp/

日本特殊陶業では、お客様のクルマのコンディションを快適に保つスパークプラグ及びイグニッションコイルの「予防整備・予防交換」の技術情報の提供をして参りました。本年は新たに「O2センサの予防整備・予防交換」をご提案いたします。IAAE2021ポータルサイトにて動画を公開しておりますので、整備の現場にてお客様に部品の点検交換にご納得いただくための説明に是非ご活用ください。また1月よりNTKブランドから「NTKノックセンサ」を新発売いたしました。スパークプラグで長年培ってきたセラミック技術を惜しみなく注入し、多くの自動車メーカーに純正採用された安心・信頼の品質の製品です。

な

日本デントショップネットワーク

小間番号 313

〒593-8312 大阪府堺市西区草部750-6
Tel. 0120-703-853 Fax. 072-273-5572
URL http://www.dent-shop.com

国内最大級のデントリペアに特化した会社です。デントリペアの習得のスクール・日本で唯一の海外の最新のツールを案内するデントリペア専門工具ショップ。アジアで唯一のデントリペア国際大会などを運営しデントリペアの市場発展の為に様々な活動を行っております。今自動車業界に大きく成長を遂げているデントリペア市場に興味のある方は是非お問合せ下さいませ。

一般社団法人日本輸入車整備推進協会

小間番号 113

〒142-0064 東京都品川区旗の台2-10-15
Tel. 03-6421-6081 Fax. 03-6421-6084
URL http://jispa.net

日本輸入車整備協会（JISPA）は輸入車整備の全国ネットワークです。輸入車においては、新車時から車齢が増えるにつれて徐々に、ディーラーへ持ち込むユーザーが減っていきます。車齢が8年～12年、さらに長く大切に愛車に乗り続けたい輸入車ユーザーは、愛車を安心して任せられる整備工場を求めています。しかし何処の工場に依頼すればよいのかが分からない"輸入車整備難民"が多くいるのが現状です。JISPAはそのようなユーザーの要望に応えることができる全国100社（工場）の整備ネットワーク構築のため、会員を募集中です。

株式会社NOAA

小間番号 129

〒165-0032 東京都中野区鷺宮3-1-8
Tel. 03-5356-9333 Fax. 03-5356-9334
URL http://www.noaajapan.com/

超小型軽量折り畳み携行型電動カート事業のご案内（少額の投資で確実な収益）公的認定された車両（約20kg）は、軽自動車にも楽々車載が可能でお出かけシーンを大きく広げます。政府は福祉介護医療予算圧縮のため、高齢者のお出かけを活性化し元気にすることがテーマになっています。早めの運転免許証返納を促し、その乗物として電動車いす活用の実証実験を開始しました。自動車処分後の代替製品としての販売のほか旅行や行楽など必要な時に気がるに貸出す、高収益レンタルシステムをぜひご検討下さい。18年の開発の歴史と多くの高齢者の生の声から生まれた車両NOAA MOBILE-Xを是非ご検討下さい。

は

HI-LINE22株式会社

小間番号 123

〒135-0016 東京都江東区東陽1-21-7 REISE 01
Tel. 03-6666-8016 Fax. 050-3488-3519
URL http://glasscad.com

自動車業界だけでなく建築業界、船舶業界のプロが敬遠するガラスの水垢、ワイパー傷、爪で引っかかる傷などを再生研磨で解決する技術を学べるスクールです。

BSサミット事業協同組合

BSサミット事業協同組合

小間番号 357

〒104-0031 東京都中央区京橋3-9-4 新京橋ビル3F
Tel. 03-3538-2900 Fax. 03-3538-2901
URL https://bs-summit.jp

BSサミットは、高い志と技術・設備をもつ自動車修理のプロショップだけが加盟する全国ネットワークです。国産・輸入車を問わず、進化し続けるあらゆる自動車の修理・整備をしっかり行えるプロフェッショナル集団として、常に新しい知識と修理技術を身につけ、最先端の設備を推奨し、最高品質の車体修理サービスを提供し続けていきます。そして"次世代自動車時代"で勝ち残れる精鋭だけが集結する組織として志高き「BSサミット組合員」を募集しています！

あ

アクゾノーベルコーティング株式会社

小間番号 357

〒186-0012 東京都国立市泉4-8-7
Tel. 042-843-0081 Fax. 042-577-7444
URL http://www.sikkensvr.com

アクゾノーベルコーティング株式会社はシッケンズをはじめとする250年の歴史をもつ自動車補修塗料に特化したプレミアム塗料を取り扱う会社です。長年の伝統と経験を継承し、常に革新的な塗料システムを研究・開発しており、最先端の塗料製品を、技術サービスやトレーニングと共に提供しております。今回はパートナー推進プロジェクトとしてBSサミットブース内にて『BSサミットアカデミープログラム』のご紹介しております。塗装者のスキルアップを目的とした世界基準の塗装技術をサポートさせて頂く内容となっておりますので、ご来場の際にはBSサミットブース内の弊社スペースにどうぞ皆様、お気軽にお立ち寄りください。

株式会社EBE

小間番号 357

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23-1 お茶の水センタービル4F
Tel. 03-5298-1851 Fax. 03-5298-1852
URL http://www.e-b-e.co.jp

自動車アフターマーケットに特化した弊社製品は「かんたん」「わかりやすい」「すぐできる」を実現したパッケージソフトです。自社に必要な機能が選択でき、コストカットが可能。リコール情報照会・次回重量税額照会サービス・継続検査OSSシステム必要機能も充実！弊社製品はすべてのシステムを一元化でき、例えば整備+ロードサービス+鈑金+車販など組合せ自由。他社連動機能（車検ライン・鈑金ソフト・車販ソフト他）でも一元管理ができ効率アップ。これまでご利用中のシステムの顧客・車輌などのデータは移行可能で安心！

株式会社栄和製作所

小間番号 357

〒164-0012 東京都中野区本町1-25-15中野坂上サンハイム101
Tel. 027-288-2104 Fax. 027-288-2104
URL http://www.eiwanet.co.jp

主に自動車の鈑金作業のための溶接機及び工具を開発、販売を行っております。創業55年を迎える老舗のアイデアと激動の自動車業界に対応するための行動力を持ち合わせたメーカーです。今回も新製品を出展予定です！是非お立ち寄りください。よろしくお願い致します。

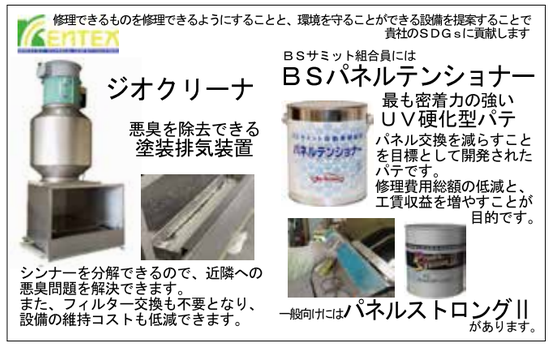
か

株式会社ケンテックス

小間番号 357

〒224-0043 神奈川県横浜市都筑区折本町354番地
Tel. 045-474-0805 Fax. 045-474-0824
URL https://kentexblog.wordpress.com/

ケンテックスでは、BSパネルテンショナー（＝パネルストロングⅡ、UV硬化型パテ）、ジオクリーナ（有機溶剤臭を減らすことができる塗装排気装置）、テュフ認証対応のための設備やコンプライアンスのサポート、ポリバンス（バンパーやヘッドライト修理のためのプラスチック溶接機）、RMオニキス（外資系水性塗料）を中心に、環境に優しい修理をするための設備、材料を取り扱っております。上記の設備や材料などを実際に試していただくことができる技術研修所を併設して、皆様のご要望にお答えできるようにしております。



ま

株式会社Movi・USA

小間番号 357

〒104-0033 東京都中央区新川1-19-7 YOSHIKAWA BLDG5F
Tel. 03-5542-3711 Fax. 03-5542-3712
URL http://moviusa.co.jp

MoviUSAでは、自動車リサイクルパーツ及び自動車リビルトパーツ流通システムを運営しております。自動車部品を探すのに非常に有効なシステムになっております。簡単操作・商品画像確認・複数商品比較　ぜひ一度お試しいただければと思います。システム利用料は無料！

は

ファインピース株式会社

小間番号 131

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目15-14
Tel. 0120-99-8802 Fax. 092-409-6038
URL https://www.finepiece.global/

整備機器メーカー・商社 / 特定整備のトータルソリューションを提供　【エーミング】ボッシュー次代理店、ProADAS輸入元、ツールブラネット、他　【アライメント】John Bean代理店、TECOアライメントリフト輸入元　【塗装ブース・プレパレーション、フレーム修正機】テルモメカニカ輸入元　【溶接機】コンパクトミグ総輸入元、チェボラ代理店　【スポット】スーパーブント輸入元　【ガス回収機】TOP AUTO【リフト】ファインピース シザース/スプレーブース/アライメントリフト等　【タイヤチェンジャー】TECO代理店　【エアーツール】ファインピース、DR輸入元　【ケミカル】TENZI総輸入元

藤壺技研工業株式会社

小間番号 101

〒220-0072 神奈川県横浜市西区浅間町3-204-17
Tel. 055-998-3011 Fax. 055-965-1550
URL https://www.fujitsubo.co.jp/

FUJITSUBOは、1931年の創業以来、「最高の製品を生み出すこと」をモットーに、オリジナル製品の生産に専心してきました。1997年に品質の国際規格ISO9001の認証を取得したことは、お客様と社会のお役に立てるよう努力を続けることを約束した当社の姿勢を表しています。また、騒音・環境問題にいち早く取り組み、2004年に車外騒音測定用路面を自社に設置し、2007年にはJIS Q 17025：2005試験場認証を取得しました。当社の製品は全て車検に対応していますので、安心してお使いいただけます。今年で創業90周年を迎え、これからも常にお客様の気持ちになって心のこもった製品を提供していきます。

FlexiShield JAPAN

小間番号 137

〒243-0307 神奈川県愛甲郡愛川町半原3871-2
Tel. 046-211-5121 Fax. 046-409-9897
URL http://www.p-fac.jp

世界各国で展開されている米「FlexiShield（フレックスシールド）」が日本に上陸する。アリゾナで開発・製造・販売を一貫で手掛ける生産体制により、施工性・仕上がり質感ともに優れた品質のPPFを提供しており、施工をサポートする独自の高精度なカットデータシステムRAPも設定。PPF施工専門店として豊富な取り扱い実績を誇る国内総代理店　P-Factory(有限会社いのうえ内)は約2年に及ぶ品質管理、体制整備を経て今年、培った施工技術・ノウハウとともに、この新たな高品質PPFを全国に展開していきます。導入施工店に向けた講習会の受付を開始する他販売代理店も募集いたします。

Brembo

小間番号 127

〒145-0064 東京都大田区上池台2丁目14番1号
Tel. 03-3726-9199 Fax. 03-3726-7605
URL http://www.brembo.com

ブレンボ社の補修用製品はモータースポーツや純正部品供給の経験に基づき、世界最高水準の技術と性能を世界の補修品市場へ供給しております。世界のハイパフォーマンスカーを支える技術を皆様のお車へご提供いたします。

株式会社ブロードリーフ

小間番号 149
〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
Tel. 03-5781-3092 Fax. 03-5781-3056
URL https://www.broadleaf.co.jp/

ブロードリーフでは自社のブースを3D空間で再現しました。毎年恒例のセミナーをはじめとして、コロナ禍で注目されるDX(デジタルトランスフォーメーション)ソリューション、参考出展を含む次世代システム「.cシリーズ」、弊社の新たな事業者や取り組みに関する展示などいつでも・どこでも閲覧することができます。これまでスケジュール等の都合でなかなか東京まで見に行けなかった方も、業界最先端の情報が集まるIAAEを体験できる良い機会ですので、是非ともお気軽にオンライン会場までご来場ください。

① SS向け新商品初出展！

ブロードリーフオンラインブースで紹介ムービーを放映中! ぜひご覧ください!

業界初SS専用クラウドシステム新登場!

「油外収益アップ」はどこのサービスステーションでも
抱えている課題です。
課題解決のためには、お客様の情報を管理し、
お客様に合ったサービスを提案することが必要です。
「Maintenance.c SS+」は徹底した顧客管理と
充実のデータベースで実現する
サービスステーション専用のシステムです。

近日リリース!

Maintenance.c SS+
Super Frontman Series

顧客基盤の強化と業界最多のデータベースによって 誰でもカンタンに お客様に合った最適な提案ができます!

お客様に合わせた商品/販促物/トークを見ながら、アルバイトでも簡単に見積提案が可能!

来店→給油

車番読み取り機連携

車番読み取りから、自動車検証データ・用品規格データを取得!
「車検満了日／類別型式／オイル量・粘土／タイヤ・バッテリーサイズ」

給油レーンに停車したタイミングで**顧客情報を自動表示**します!

声がけ提案

お客様に合わせた声がけ

顧客毎に**提案商品・サービスが自動表示。販促物、トークも出ます!**

見積提示

すばやく・カンタン・正確な見積

部品価格、TBA情報、整備工数などデータベース標準搭載!

価格、工数などを調べる、聞くことなく**正確な見積が作成**できます!

第18回 国際オートアフターマーケット EXPO2021

お申し込み専用Webページ

Copyright ©2021 Broadleaf Co.,Ltd.

は

② 毎年恒例のセミナー

今年のブロードリーフ無料セミナーもオンラインで開催します。
今大注目のDX(デジタルトランスフォーメーション)をはじめとして、
旬な話題盛りだくさんの全11セミナーを配信します

3/17（水）

11:00 - DX推進

コロナ禍において企業変革は急務
~DXで実現する次世代整備工場~

株式会社ブロードリーフ
DX推進コンサルティング部　部長
楠本　祥雅 氏

13:00 - 店舗改革／人材育成

10年後生き残るために
今この業界でやるべき事とは？

株式会社ダイハツ明石西
代表取締役
織田 久史 氏

14:00 - 店舗改革

『満足度90%』の車検!
過去も未来も根幹は変わらない!

株式会社ホリデー

営業部　部長代理
西田　和人 氏

営業部　課長
児玉　武晴 氏

15:00 - SS店舗運営

洗車で稼ぐための
「ツール」と「ルール」

株式会社 本荘興産
代表取締役社長
平井 新一 氏

3/18（木）

11:00 - 集客／顧客管理強化

「売り込まずに売れる仕組みづくり」
YouTubeを活用した集客方法

株式会社ラブアンドフリー
代表取締役
高橋 真樹 氏

13:00 - 業界動向／店舗改革

近未来型の自動車関連業種

カーステーション株式会社

オーナー
寺園 和文 氏

株式会社燃料油脂新聞社

編集局　石油部　編集委員
秋葉 誠一郎 氏

14:00 - DX推進

Google と共に実践する
デジタル トランスフォーメーション

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
カスタマー エンジニアリング
Google Workspace スペシャリスト
趙 泰寛 氏

15:00 - 人材育成／労働環境改善

厳しい経営環境下でも
顧客と従業員の双方に選ばれ
盤石な経営基盤をつくるES経営手法

株式会社ヒューマンブレークスルー
代表取締役
志田 貴史 氏

3/19（金）

11:00 - DX推進

コロナ禍において企業変革は急務
~DXで実現する次世代整備工場~

株式会社ブロードリーフ
DX推進コンサルティング部　部長
楠本　祥雅 氏

13:00 - Web集客／店舗改革

自動車流通の変化と
今後の展望

株式会社アイオーク
代表取締役社長
湯川 正 氏

14:00 - 業界動向

特定整備制度と
アフターコロナに向けて
整備事業者に今後求められること

株式会社日刊自動車新聞社
代表取締役社長
髙橋 賢治 氏

15:00 - ユーザー様事例

地域密着型のITシステムフル活用、
その本当の理由と具体策

株式会社グランベリーツー
代表取締役社長
石井 由行 氏

株式会社ブロードリーフ
本部営業課
鈴木 有輔 氏

セミナー情報は変更の可能性がございます。最新の情報に関しては、こちらのサイトでご案内いたします。
https://next.broadleaf.co.jp/

③ 参考出品含めた次世代商品・サービス展示

当社の商品・サービス、新事業を3つのブースに分けてご紹介します。気になる商品・サービスはその場でチャットやメール、WEB会議で詳しい話が聞けます!

DXブース

コロナ禍で人々の働き方や消費者行動が変化する中、企業に求められている事はDX(デジタルトランスフォーメーション)でこの激しい変化に対応していくことではないでしょうか。DXブースでは、「店舗改革」「働き方改革」「生産性向上」の3つの視点でDXを推進するソリューションを展示します。

.cブース ※参考出品含む

サービスステーション向けの新商品に加え、整備、鈑金、部品商、リサイクル事業者様向けの次世代システムも参考出品します。全く新しい開発手法でシステムの完全クラウド化を実現。最新のユーザーインターフェースを追及した新しい「.cシリーズ」を是非ご覧ください。

MaaS／トレーサビリティブース

当社の新たな事業や取り組みに関する情報を紹介します。アフターマーケットだけにとどまらない当社の新しい事業の形をお見せいたします。

※画像はイメージです

事前エントリーいただいた方限定!

④ 事前エントリーで当たる豪華賞品大抽選会

事前エントリーをしていただいた方は下記の豪華賞品が当たる大チャンスです!
ブロードリーフオンライン展示「当選ブース」に是非お立ち寄りください。

1等

徹底的に空気をキレイに!
Dyson Pure Hot + Cool Link™ 空気清浄機能付 ファンヒーター

1名様

2等

※画像はイメージです

高度な音声認識、ハンズフリーで使いやすい!
スマートスピーカー
3名様

3等

便利なキャスター付き! 移動もカットもラクラク!
オートフィード シュレッダー
5名様

URLをタップするだけでお支払い完了! 登録やアプリなしで使えます

4等 QUOカードPay 1,000円 — 10名様

5等 QUOカードPay 500円 — 20名様

は

株式会社保険毎日新聞社

小間番号 111

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目14番8号 シモジンパークビル2F
Tel. 03-5816-2862　Fax. 03-5816-2864
URL https://保険毎日新聞社.jp

1945年創刊の保険業界専門紙。月～金曜日の平日日刊で、タブロイド版12ページの新聞を発行しており、出版事業やウェブ事業（ウェブサイトにおける記事検索サービス、出版図書のネット販売等）も展開しております。近年、自動車アフターマーケット業界では他社との差別化を図るため、そして新たな収益事業として「保険」が注目されております。新聞には自動車保険関連や生命保険の販売に取り組む自動車関連事業者の取り組み等も掲載しております。また、出版事業では自動車保険や自動車事故関連の専門書籍を取り扱っております。

典型判例シリーズ
実務理論 事故法大系Ⅰ
交通事故
小賀野晶一・平沼　直人　編著

交通事故裁判例の中から実務の指針となる「典型判例」を精選

ISBN978-4-89293-438-4
(2021年2月刊)　●A5判・436頁
●定価4,950円（税込）／送料495円（税込）

ボッシュ株式会社

小間番号 301

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7
Tel. 03-5485-6060　Fax. 03-5485-5954
URL https://corporate.bosch.co.jp/

ADASエーミング作業を含む新しい整備開始の準備は整っていますか？「どこからはじめたらいいのかわからない」、「車両システムの理解に自信がない」、「作業を間違えたらどうしよう」「車種ごとに違う作業を覚えるのはムリ」など多くの不安を抱えている企業・工場も少なくないのではないでしょうか。世界的な部品メーカーであり、未来のモビリティー開発にも携わるボッシュは、この自動車整備の大きな変革に対して「トレーニング・ツール・工場監査・作業エビデンス(証拠)・ホットラインサービス」の5つのトータルソリューションを用意しており、お客様の状況に合わせて自動車整備のビジネスを360度サポートします。

ま

明治産業株式会社

小間番号 198

〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-12
Tel. 03-5563-8885　Fax. 03-5563-8884
URL https://www.mesaco.co.jp/

「車を走らせることよりも、止めることのほうが難しい。」"Seiken" は、この考えの基に生まれた明治産業のブレーキ部品、ブレーキフルードなどのオリジナルブランドです。当社は、1933年の創業以来、ブレーキパーツ、ブレーキフルードを主要商品として、高品質、高性能な自動車補修部品を国内および、世界80カ国以上に供給する自動車部品の専門商社です。【出展内容】Seiken e-GarageによるADAS機器のご紹介。ターゲットを液晶表示する「Seikenエーミングモニター（国産車用）」と、正対位置出しを自動的に行う「Mahle TechPRO® DIGITAL ADAS（輸入車用）」をご案内します。

や

株式会社ヤマウチ

小間番号 122

〒761-8057 香川県高松市田村町397
Tel. 087-867-6868　Fax. 087-867-6788
URL https://y-grp.com/

年間6,000台の車検実績を持つ整備工場で生まれた、実践的かつ使いやすさを追求した整備工場特化型のシステム、totoco（とっとこ）です。車検も整備もネット予約OK！入庫管理をネット・リアル問わずすべて一元管理が可能、クラウドだからどこにいても常にリアルタイムで情報共有ができます！サービスを開始して5年が経過、日々使いやすさを追求し、進化を遂げているtotoco（とっとこ）は多くの導入店様から評価をいただいております。

ヤマト自動車株式会社

小間番号 200

〒577-0012 大阪府東大阪市長田東1-3--47
Tel. 06-7670-0002　Fax. 06-7670-0003
URL https://www.yamato-a.com/

自動車整備機器をはじめ、自動車優良部品・ボルト・クリップまで「30万点以上にも及ぶ商品を取り扱う専門商社」です。ヤマトのウェブ（発注検索システム）は、お客様の要望に応え最新の情報・商品をお届けしています。ヤマト自動車オリジナルブランドSeednew・Moveon・Topleadの中からスキャンツールをメインに、ボルト・クリップ、ワイパーブレード、ブレーキパッド、ブレーキシューの展示を行います。

株式会社油業報知新聞社

小間番号 112

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-8
Tel. 03-3551-9201　Fax. 03-3551-9210
URL http://yugyouhouchi.co.jp

日刊油業報知新聞は昭和6年（1931年）に創刊し、今年で90周年を迎えました。石油の専門新聞として「迅速・正確・公平」をモットーに発行しております。電子版も発行しており、記事のキーワード検索ができるようになっております。3月12日には「新・石油読本 令和3年（2021）年版」を発売いたします。昨年末には「2021年版　石油産業人名鑑」を発売いたしました。他に季刊誌「給油所日本」、週間「油業報知新聞油脂版」も発行しております。

ら

有限会社ライト

小間番号 306

〒321-3235 栃木県宇都宮市鐺山町1064-1
Tel. 028-306-2108　Fax. 028-670-0071
URL https://l-linx.com/

今、最も注目されているLINE営業！次世代マーケティングオートメーションDXツール「LINX」なら、コロナ過でも顧客と非接触で商談できます！さらに、集客から契約までをLINEで自動化出来るので、業務効率化、経費削減、売上アップ効果大！リモートワークの強い味方、カービジネスのDX化に最適なツールです！ブースへご来場頂いたお客様に無料でお試しアカウントを発行致しますので、「LINX」を是非お試しください！

【共同出展者】一般社団法人日本優良自動車販売協会

わ

株式会社ワイエムジーワン

小間番号 139

〒130-0026 東京都墨田区両国2-12-2
Tel. 03-3635-1266　Fax. 03-3635-0955
URL https://lapps.jp/

(株)YMG1がご提供している、商業用カーラッピングのノウハウを個人のお客様向けに進化させたブランドLAPPSのご紹介です。LAPPS（Luxury Automobile Progressive Plus Style）とは、自家用車を車両用ラッピングフィルムで色を変える新しい車の楽しみ方をご紹介するサービスです。昨今、自動車関連の展示会でもおなじみになってきており、一般の方々もカラーリング・チェンジ・フィルムカーラッピングを体験される方も多くなっています。LAPPSでは、自動車メーカーおよび、ディーラー様に対してラッピング企画や受注された車両のラッピングをしており、3Mジャパン社認定の施工技術講習も毎月開催しております。

メディアパートナー

カーディテイリングビジネスを模索する全てのプロへ。ビジネスのヒントをお届けする業界紙

CAR DETAILING NEWS カーディテイリングニュース

カーディテイリングビジネス & テクニカル専門情報誌

多様化するビジネス形態 × 広がるサービス領域

コーティング／洗車／カーフィルム／内装ケア（クリーニング／リペア）／ガラスリペア／デントリペア／外装フィルム（ラッピング／ペイントプロテクションフィルム／ウィンドウプロテクション）…and more

新製品・新サービス／先進事例／業界・現場の課題／業界団体・異業種の動向…and more

発行：ジェイシーレゾナンス／編集制作：日刊自動車新聞社

定期購読のご案内

年6回（偶数月25日）発行　年間購読料¥3,000（税込）

お申し込み方法は、公式HPからどうぞ!

エーミング データブック 2020 年度版

フロントカメラ編

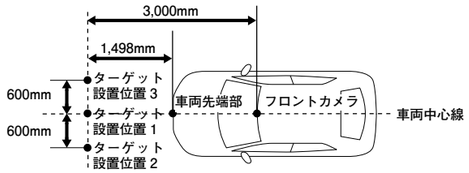
エーミング作業を迅速に、そして円滑にする特定整備時代必携の資料

A4 判：240 ページ

定価 2,000 円：送料 500 円（共に税込み）

- 2019 年末までに発売された国産乗用車 208 車種
- フロントカメラのエーミングに必要な数値を収録
- 内容：ターゲットパターンの種類
  ターゲット設置（距離・高さ）
  スキャンツール入力数値

【記載例】



○ スキャンツール入力数値（記載例）

項目	数値
カメラ高さ	1345 mm
カメラ横距離	3 mm
カメラ搭載ヨー角	0°
カメラ搭載ピッチ角	-1.75°
ターゲット高さ	1270 mm
カメラとターゲットまでの距離	3000 mm
ターゲット間距離	600 mm
ターゲットサイズ	160 mm
車幅	1695 mm
カメラ前輪間距離	692 mm
ピッチオフセット角	0 °
カメラレーダ間距離	0 mm

○ お求めはお近くの自動車整備商工組合・自動車車体整備協同組合へ ○

公論出版

全50問で特定整備の疑問を解消！「知」りたいが詰まってる

そこが知りたい
特定整備
Q&A

どういった制度なの？
どうやって対応するの？

POINT① 重箱の隅をつく質問まで対応
初歩的な質問だけでなく、説明会や参考書では解決しない細かな質問も。

POINT② 図表やワンポイント解説も充実
理解が難しい内容には、ワンポイント解説を設け、図表も多数用意。

POINT③ 国土交通省や運輸支局に直撃した最新情報を網羅
不明箇所は国土交通省や運輸支局にて直接ヒアリングを敢行。

POINT④ 申請様式のダウンロードも可能
特定整備認証を申請（新規・変更共に）する際に必要な申請様式書類は、弊社 Web サイトの特設ページよりダウンロードが可能。

本体 500 円＋税　そこが知りたい特定整備 Q&A

B5 判・36 ページ ※ 送料別（100 円）お問合せ　03-5713-7603　ご注文は株式会社 せいび広報社 HP から！

日刊自動車新聞

自動車業界を斬る！

●購読料（１ヶ月）：5,343 円＋消費税
●発行日：月曜日～土曜日（日曜日・祝日休刊）

購読のお申し込みはフリーダイヤル
TEL：0120-461-497
FAX：0120-461-490

お問い合わせ
TEL 03-5777-2318
hanbai@njd.jp

ご購読詳細はコチラ

裁判例にみる交通事故物的損害
全損 第３集
事故情報調査会　海道 野守 著

2015年９月までの15年間の交通事故民事裁判のうち全損とされた乗用車・タクシー・トラック車両の被害者が請求した物的損害を項目別に解説。

（2018年7月刊）
●Ｂ５判・368 頁
●定価 4,950 円（税込）
送料 495 円（税込）
ISBN978-4-89293-295-3

車両損害の最新判例とその読み方
小賀野 晶一　亀井 隆太 著

紛争処理実務者向けに物損事故車両の修理費、評価損、買替差額、代車料、休車損等、最新裁判例の動向とともに車両損害の考え方を解説。

ISBN978-4-89293-430-8

（2020年6月刊）
●Ａ５判・296 頁
●定価 3,520 円（税込）
送料 495 円（税込）

お申込みはFAXまたはWebで　FAX 03-5816-2863　http://www.homai.co.jp
東京都台東区台東4-14-8 シモジンパークビル2F　03-5816-2861　保険毎日新聞社

伝統と信頼のメディア ――　いつでも、どこでも読めます

創刊 1931年
日刊油業報知新聞 電子版

電子版の特徴
1.当日朝５時に配信
2.マルチデバイス対応
3.記事のキーワード検索が可能
4.バックナンバーも閲覧可能

１カ月間電子版を無料試読可能です・・・

［新聞購読料］
本紙のみ…月額 4,500 円（消費税別）
電子版のみ…月額 4,500 円（消費税別）

▶ＱＲコードを読み取るか、もしくは下記のＵＲＬにアクセスして下さい。
▶スマホのアプリからも閲覧できます。
※ios、Android対応

刊行物

給油所日本
季刊誌（年４回発行）
Ｂ５判 約130頁前後
定価 4,000 円（税別）

新・石油読本
毎年発行
Ｂ５判 約330頁前後
定価 3,700円(送料･税別)

お申し込み先
株式会社 油業報知新聞社　〒104－0033 東京都中央区新川２－６－８
TEL 03(3551)9201 FAX 03(3551)9206　http://yugyouhouchi.co.jp/digital/

メディアパートナー

リビルトパーツ専門誌
リビルトパーツ年鑑 2021年度版 発行!

快適・安心・適正価格なカーライフに繋がる
新品や中古とは異なる再生(リビルト)部品という選択肢

- ▶パーツ毎にリビルダーを簡単検索!
- ▶補修部品を取り巻く環境を編集部の独自取材記事でお届け
  リビルト認知の現状／需要増への期待高まる電装・バッテリー／ディーゼル補修の展望／アップグレードを兼ねた補修…etc
- ▶補修部品における“リビルトパーツとは”を リビルド工業会全国連合会深澤会長がコラムで解説

発行：ジェイシーレゾナンス　協力：リビルド工業会全国連合会／全日本自動車部品卸商協同組合

電話まはたメールでご注文ください

リビルトパーツ年鑑 編集部(株式会社ジェイシーレゾナンス内)
▶TEL.03-5565-1642 (月～金／10:00～17:00)
▶E-mail:rebuiltparts@jc-resonance.co.jp

ご注文の際に
「IAAE 公式ガイドブックを見た」
とお伝えください。

Automotive media
Response. ビジネス向け

mirai.Response

自動車ニュースメディアで有名な「レスポンス」から、ビジネス向けサイトオープン

BENEFITS
会員特典

プレミアム記事	調査レポート	オンラインセミナー
読み放題	読み放題	参加し放題

詳しくはQRをチェック
※スマートフォンのカメラでこちらのQRコードをスキャンしてください

海外パートナー展示会

オンライン展示会 第2弾！

International Auto Aftermarket EXPO 2021 ONLINE Vol.2

IAAE 2021 ONLINE Vol.2

会期：3月24日（水）～4月30日（金）

Coming soon!

International Auto Aftermarket EXPO 2021 ONLINE Vol.1

第18回国際オートアフターマーケットEXPO2021 ONLINE Vol.1 GUIDEBOOK

発行　国際オートアフターマーケットEXPO実行委員会
〒104-0045 東京都中央区築地3-3-2 NEWS築地9F（株式会社ジェイシーレゾナンス内）
TEL.03-5565-1642　FAX.03-5565-6909

2022

International Auto Aftermarket EXPO

第19回 国際オートアフターマーケット EXPO 2022

オートアフターマーケットの活性化を目的とした商談型展示会

―次回開催決定―

会　期 2022年3月9日（水）～11日（金）
March 9th (Wed.) - 11th (Fri.), 2022

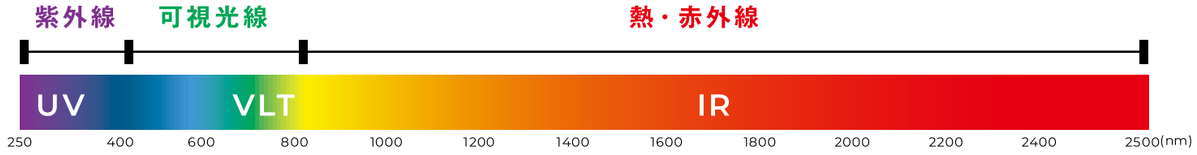
会　場 東京ビッグサイト　西1・2ホール
Tokyo Big Sight, West Hall 1·2

KSBF
KOBOtect Sun Block Film

自動車のフロントガラスにフィルムを貼っても車検が通る。
業界最高スペックのウィンドフィルムが常識を変える。

太陽光から発せられる紫外線や熱の波長について

光の波長は大きく分けて、紫外線・可視光線・赤外線の3つに分かれています。
地球に到達する光の波長領域内で日焼けや暑さの原因になる波長をしっかり遮断することで、効果的な日焼け・暑さ対策が可能となります。



UV 紫外線の波長域
日焼けや内装老化に繋がる

紫外線遮断率 **100%**
※紫外線波長域250~380nm
第三者機関調べ

VLT 可視光線の波長域
VLTの数値で透明度が変わる

可視光線透過率 **92%**
※紫外線波長域400~780nm
第三者機関調べ

IR/熱 熱の波長域
暑さの原因となる

熱遮断率 **99%**
※紫外線波長域780~2500nm
第三者機関調べ

※当社、取扱商品の各最高水準の数値を記載しております。

たった1枚のフィルムで日焼けも暑さも徹底的にブロック

KOBOtectサンブロックフィルムはフロント3面など、車の窓から入り込んでくる紫外線(UV)赤外線(熱)をしっかりブロック。車検対応の高透明度、誰もが確実に体感できる圧倒的な99%熱遮断性能に加え、紫外線はなんと100%遮断を実現。
たった1枚貼るだけで暑さや日焼けから徹底的にブロック出来る革命的なフィルムを是非ご体感ください。

KOBOtect CO.,Ltd.
フィルムがあなたを守る時代。

株式会社コボテクト
【神奈川本社】〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町290-1
【TEL】045-507-7997 【FAX】045-507-7791 【WEB】https://kobotect.jp

今までの。。。
常識を覆す！
理解を越えた、新世代フィルム。
KOBOtect Sun Block Film series
3Block
Coming soon

DAIWA 大和産業株式会社 〒108-0075 東京都港区港南3-8-1 森永乳業港南ビル8F TEL:03-6433-1682(補修品営業部) ホームページ https://www.daiwa-sangyo.co.jp/

MaxiSys

NEW LINE UP

GYS

GYS FLASH

BATTERY CHARGER

G-STYLE

www.gstyle510.jp & www.autel.jp

ADAS

ADVANCED DRIVER ASSISTANCE SYSTEM

CALIBRATION

ADAS

ADVANCED DRIVER ASSISTANCE SYSTEM

CALIBRATION

INTELLIGENTADAS

FASTER, MORE ACCURATE & REPEATABLE EVERY TIME

OPTION IA800

NEW LINE UP